

幼儿教育学科

2019 年 7 月 3 日 更新

科 目 名	日 本 国 憲 法		単 位 数	2		実務経験	担当教員	ひらた よういち 平田 陽一
ナソバ・リソグ・コト	PUL12101		授業形態	講義		有・無		
授 業 の 内 容	私達の国家は市民の良識により公正な社会を作ることを目指している（民主制）。この目的を実現するために政府を作り、そして政府の守るべき規範として制定された法が憲法である。この視点から憲法の基本的な考え方を説明する。							
到 達 目 標	1．憲法が制定された目的を理解している。 2．憲法が前提としている「自律した市民」としての自覚を身に付けている。 3．自己の判断により国の政策を選択することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・④・⑤・6・7）地域保育学科（1・2・3・④・⑤）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	憲法について（憲法は政府の守るべき法であること）	予習	憲法の前文を読んでおく			
				復習	憲法の目的を理解する			
	第 2 回	内容	近代立憲主義（憲法が政治権力の濫用を防止するための法であること）	予習	憲法第 10 章を読んでおく			
				復習	憲法の基本原則を理解する			
	第 3 回	内容	近代国家と憲法（政府の役割が国民の人権の保障であること）	予習	近代国家の性質を調べる			
				復習	憲法上の国家を理解する			
	第 4 回	内容	平和主義（国際紛争を平和的手段で解決するということ）	予習	憲法第 2 章を読んでおく			
				復習	戦争の放棄の意味を考える			
	第 5 回	内容	国民主権主義（国家の政策は国民が決めるということ）	予習	憲法の前文、第 1 条、第 96 条を読んでおく			
				復習	国民主権の現状を考える			
	第 6 回	内容	人権尊重主義（政府は国民の人権を侵害してはならないということ）	予習	市民社会と市民の意味を調べる			
				復習	人権規定の存在理由を理解する			
	第 7 回	内容	権力分立主義（政治権力の濫用を防止するために政治権力を分割するということ）	予習	国会、内閣、裁判所の権限を調べる			
				復習	権力分立主義の現状を考える			
	第 8 回	内容	人権（人間が人間として生まれながらに当然有する権利であること）	予習	憲法第 3 章を読んでおく			
				復習	自然法思想について考える			
	第 9 回	内容	自由権（政府の人権侵害からの国民の自由について）	予習	一般的な意味の自由を調べる			
				復習	憲法の保障する自由を理解する			
	第 10 回	内容	社会権（国民の人権を実現するために政府のなすべきことについて）	予習	平等と自由の関係を調べる			
				復習	福祉国家を考える			
	第 11 回	内容	参政権など（国民の意思の表明などについて）	予習	民主主義の意味を調べる			
				復習	主権者としての国民を考える			
	第 12 回	内容	立法機関（国会の役割について）	予習	憲法第 4 章を読んでおく			
				復習	代表民主制について考える			
	第 13 回	内容	行政機関（内閣の役割について）	予習	憲法第 5 章を読んでおく			
				復習	議員内閣制を考える			
	第 14 回	内容	司法機関（裁判所の役割について）	予習	憲法第 6 章を読んでおく			
				復習	司法審査制を考える			
	第 15 回	内容	憲法の現代的諸問題	予習	現在の政治問題を調べる			
				復習	憲法の視点から政治問題を考える			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題に関する授業の復習を行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度（40％）							
教科書	使用しない							
参考文献	特になし							
注意事項								

科 目 名	体育実技	単 位 数	1	実務経験	担当教員	きたほら きたはら かさい しおざき 北 洞 ・ 北 原 ・ 笠 井 ・ 塩 崎
ナシバ・リンク・コート	DMB12101	授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	本講義では、生涯にわたって運動・スポーツと親しむための基礎的技能の習得、正しい知識、実践方法について学ぶとともに、運動・スポーツを通して他者との関り方について考えることをねらいとする。また、将来幼児教育者として必要な幼児の運動あそびに関する知識、技能、さらに子どもの指導や援助の技術について理解を深めることを目的としている。					
到 達 目 標	1. 運動・ダンス・スポーツに親しむための基礎的技能を習得している。 2. 自己の身体に関心をもち、健康の維持・向上を実践していく知識・方法を習得している。 3. 運動・ダンス・スポーツを通して協調性・社会性を身に付けている。 4. 幼児教育者として必要な幼児の運動遊びに関する基本的な知識と技能を習得している。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・③・4・5・6・⑦） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	次にあげる3つのコースから選択できる。 （第10時限までは共通） ① 平常コース ② 野外実習（9月初旬から3泊4日） ③ スキー実習（3月下旬3日間） （②③に係る費用は全額学生負担。） 履修方法、受講上の注意事項等について説明	予習	シラバスを読み、本時の内容を確認する	
				復習		
	第 2 回	内容	いろいろなウォーミングアップの実践と検討 幼児の体操・フォークダンス・ステップ	予習		
				復習		
	第 3 回	内容	鬼ごっこについて考えよう	予習		
				復習		
	第 4 回	内容	米袋を使った遊び	予習		
				復習		
	第 5 回	内容	ボールを使った遊び①幼児期の遊び	予習		
				復習		
	第 6 回	内容	ボールを使った遊び②ルールのある遊び	予習		
				復習		
	第 7 回	内容	縄を使った遊び	予習		
				復習		
	第 8 回	内容	マットを使った遊び	予習		
				復習		
	第 9 回	内容	巧技台を使った遊び	予習		
				復習		
	第 10 回	内容	跳び箱を使った遊び	予習		
				復習		
	第 11 回	内容	縄を使った遊び	予習		
				復習		
	第 12 回	内容	サーキット遊び ①いろいろな用具を活用して実践してみよう	予習		
				復習		
	第 13 回	内容	サーキット遊び ②オリジナルサーキットを作ってみよう	予習		
				復習		
	第 14 回	内容	ボールを使った遊びの指導法についての実践と討議	予習		
				復習		
	第 15 回	内容	用具を使った遊びの指導法についての実践と討議	予習		
				復習		
	第 16 回	内容	身近なものを使った遊び しんぶんし	予習		
				復習		
	第 17 回	内容	リズムカルに動く「ダンス」① いろいろなステップ	予習		
				復習		
	第 18 回	内容	リズムカルに動く「ダンス」② 友達と関わって	予習		
				復習		
	第 19 回	内容	リズムカルに動く「ダンス」③ 動きの発見	予習		
				復習		

	第20回	内容	リズムカルに動く「ダンス」④ 作品を創る	予習	
				復習	
授 業 計 画	第21回	内容	リズムカルに動く「ダンス」⑤ 発表会	予習	
				復習	
	第22回	内容	用具を使わない遊び	予習	
				復習	
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	ノートやレポート課題の提出の際、コメントを記入して返却する。 発表の際は、講評をする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（20%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度（30%）				
教科書	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身につける理論と実例』（宮下恭子編著、大学図書出版）				
参考文献	『書店』（著者名、出版社名） なし				
注意事項	実技の際は、指定のジャージを着用のこと。出席と意欲的な態度を評価の参考とする。 2）3）の野外環境教育実習（夏・冬）に参加する際に係る各諸費用については、全額学生負担となる。				

科 目 名	体 育 講 義		単 位 数	1	実務経験	担当教員	かさいりえ きたはらかし 笠井利恵・北原隆史
ナソバ・リンク・コート*	DMB12102		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	健康や運動に関する情報があふれている現代社会では、それらに対応していく力をつけることが望まれる。本講義では健康・運動・体力について正しい知識を学び、自ら健康の維持増進の方法を考え、実践していく力を養うことがねらいである。						
到 達 目 標	1. 健康に関する正しい知識を学び、健康的なライフスタイルを実践する力を身に付けている。 2. 各年齢に適した食事や休息、運動実践の方法について理解している。 3. 幼児教育者としての自己の健康管理、子どもたちの健康・運動の援助指導を適切に実践できる基礎的知識を習得している						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・④・⑤・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	受講上の留意事項について 現代社会と健康	予習	教科書 1 を読む		
				復習	p. 10 について調べてまとめる		
	第 2 回	内容	食事と健康 食事について討議しよう	予習	教科書 2 を読む。前日の食事内容をメモしておく		
				復習	p. 20 について調べまとめる		
	第 3 回	内容	心の健康 運動との関わりについても考えてみよう	予習	教科書 3 を読む		
				復習	運動が及ぼす効果についてまとめる		
	第 4 回	内容	青年期と性 感染症について知ろう	予習	教科書 4 を読み、感染症について調べる		
				復習	p. 34 について調べ、まとめる		
	第 5 回	内容	運動と健康、体力について	予習	教科書 5 を読む		
				復習	教科書 6 について読み、本時の内容と照合しまとめる		
	第 6 回	内容	トレーニングの理論と実践	予習	教科書 7 を読み、トレーニングの目的を考える		
				復習	トレーニングメニューを考え、実践しそれについての考察をまとめる		
	第 7 回	内容	応急処置について	予習	教科書 8 を読み、熱中症についてまとめる		
				復習	p. 64 について調べまとめる		
	第 8 回	内容	生涯にわたる健康、運動について討議しよう	予習	教科書 9、10 を読む		
				復習	8 回目までの内容を振り返り、考察する		
	第 9 回	内容		予習			
				復習			
	第 10 回	内容		予習			
				復習			
	第 11 回	内容		予習			
				復習			
	第 12 回	内容		予習			
				復習			
	第 13 回	内容		予習			
				復習			
	第 14 回	内容		予習			
				復習			
	第 15 回	内容		予習			
				復習			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	毎時の復習問題について解説する。 質問に関しては、コメントすると同時に授業内にて説明をする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、授業態度（20%）						
教科書	『大学生のための体育講義 今日つくる未来・今日を生きる知恵』（若井香保里編著、推誠舎）						
参考文献	『健康づくりのための運動科学』（舩木秀夫編、化学同人）、『大学生の健康・スポーツ科学』（大学生の健康・スポーツ科学研究会編、道和書院）						
注意事項	授業は 11 月頃より開始（詳細は掲示にて知らせる）。 毎回教科書を持参し、復習問題を提出すること。						

科 目 名	教養演習		単 位 数	1	実務経験	担当教員	にしやま ほりうちゆき きたざわあきこ	
ナソパ [®] リンク [®] コート [®]	SEM12101		授業形態	演習	有 無		西 山 みちよ・堀 内 由紀・北 澤 明子	
授 業 の 内 容	この授業は、広い意味での「教養」を身につけるためのものであり、授業を通して女性の「身体」と「生命」についての理解を深めること、および社会生活を送るうえでの「常識」を身につけていく。保育者は子どもに生命の大切さを教え、子どもたちの生活や行動の模範となることが求められる仕事である。そのためには、まず自分自身の身体や生命を大切に、美しい立ち居振る舞いや言葉遣いで日常生活を送るよう努める必要がある。このことを真剣に受け止めたうえで受講して欲しい。							
到 達 目 標	1. 若い女性としての自分の身体や生命についての理解ができる。 2. 社会人としてのマナーや礼儀作法を身につけることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科 (①・2・③・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス・学長講話	予習	教養とは何かについて考えてみる			
				復習	学長講話の内容をまとめる			
	第2回	内容	人間の体のづくり	予習	自分の健康管理について考えてみる			
				復習	人間の体のづくりについて資料を基に理解する			
	第3回	内容	女性ライフサイクルと体の変化	予習	人間（自分）の一生を想像してみよう			
				復習	女性の体のつくりに一生について考える			
	第4回	内容	月経について・小テスト	予習	自分の生理周期の確認をする			
				復習	自分の体、月経障害について理解し対策を実行する			
	第5回	内容	妊娠・分娩について	予習	命について考えてみる			
				復習	生命の誕生について理解したことをまとめる			
	第6回	内容	性感染症について	予習	性感染症について調べてみる			
				復習	資料を見直し、自分でできる性感染症対策を知る			
	第7回	内容	女性特有の病気について	予習	女性特有の病気を調べてみる			
				復習	資料の見直し、自己の体、健康について再確認し、改善方法を見つける			
	第8回	内容	学長講話	予習	学長講話（第1回目）の復習を行う			
				復習	講話の内容『現代の食』について自分なりの考えをまとめる			
	第9回	内容	社会人としてのマナー①：立ち居振る舞いの基本・応対の基本姿勢	予習	事前にテキストを読んでくること			
				復習	日常生活で活用してみること			
	第10回	内容	社会人としてのマナー②：職場のルールとマナー・訪問時のマナー	予習	事前にテキストを読んでくること			
				復習	授業で学んだ事への理解を深め身につけること			
	第11回	内容	電話のかけ方・受け方	予習	事前にテキストを読んでくること			
				復習	日常生活で活用してみること			
	第12回	内容	働くことの意味	予習	自分のライフプランについて考えてくる			
				復習	自分の働くことの意味を考えてみる			
	第13回	内容	キャリアデザインのための自己分析	予習	自分の性格や長所・短所などを考えてくる			
				復習	キャリアデザインを完成させる			
	第14回	内容	社会人基礎力としてのコミュニケーションの基本と応用	予習	事前にテキストを読んでくること			
				復習	日常生活で活用してみること			
	第15回	内容	まとめと小テスト	予習	全6回の授業内容を振り返る			
				復習	社会人としての足りない基礎力を自覚し身につける			
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	次回の授業にて、小テストの解答を示し復習・指導する。 演習時に模範解答を示し説明・指導する。レポートは赤ラインを引いて返却し、添削指導する。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 第2回から第7回：小テスト・レポート（50％）、授業態度（50％） 第9回から第15回：小テスト（50％）、実技・授業への取り組み（50％） ※この二つの評価を合計して最終的な評価を行う。						
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『新生活教養』（近喰晴子他、建帛社）							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『保育のマナーと言葉』（長島和代編、わかば社）							
注意事項	1. 授業は第2週～第8週（担当：西山）はクラスごとに行い、第9週～第15週（担当：堀内・北澤）はクラスを2つに分けた少人数グループで行う。 2. 卒業および資格取得のための必修科目なので、全員が履修すること。							

科 目 名	教養演習		単 位 数	1	実務経験	担当教員	にしやま 西山みちよ・堀内由紀・信田理奈	
ナソ [®] リング [®] コート [®]	SEM12101		授業形態	演習	有・無			
授 業 の 内 容	この授業は、広い意味での「教養」を身につけるためのものであり、授業を通して女性の「身体」と「生命」についての理解を深めること、および社会生活を送るうえでの「常識」を身につけていく。保育者は子どもに生命の大切さを教え、子どもたちの生活や行動の模範となることが求められる仕事である。そのためには、まず自分自身の身体や生命を大切にし、美しい立ち居振る舞いや言葉遣いで日常生活を送るよう努める必要がある。このことを真剣に受け止めたうえで受講して欲しい。 また、グローバル化が進むなか、様々な分野で活躍する女性が増えている。しかし、世界的にみて日本の男女共同参画は十分に進んでいない。本授業では、グループワークや討議を交えながら、多くの女性が直面する課題を明らかにするとともに、女性が自分らしく生きることについての理解を深めていく。							
到 達 目 標	1. 若い女性としての自分の身体や生命についての理解ができる。 2. 社会人としてのマナーや礼儀作法を身につけることができる。 3. 現代女性の活躍を通して自己のキャリアデザインを描くことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（①・②・③・④・⑤・⑥・⑦）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス・学長講話	予習				
				復習				
	第2回	内容	人間の体のづくり	予習	自分の健康管理について考えてみる			
				復習	人間の体のづくりについて資料を基に理解する			
	第3回	内容	女性ライフサイクルと体の変化	予習	人間（自分）の一生を想像してみよう			
				復習	女性の体のづくり一生について考える			
	第4回	内容	月経について・小テスト	予習	自分の生理周期の確認をする			
				復習	自分の体、月経障害について理解し対策を実行する			
	第5回	内容	妊娠・分娩について	予習	命について考えてみる			
				復習	生命の誕生について理解したことをまとめる			
	第6回	内容	性感染症について	予習	性感染症について調べてみる			
				復習	資料を見直し、自分でできる性感染症対策を知る			
	第7回	内容	女性特有の病気について	予習	女性特有の病気を調べてみる			
				復習	資料の見直し、自己の体、健康について再確認し、改善方法を見つける			
	第8回	内容	学長講話	予習	生命の誕生から死までを考えてみる			
				復習	健康、命の大切さについて振り返りそれらを守るためにはどうしたら良いのか考えをまとめる			
	第9回	内容	社会人としてのマナー①：立ち居振る舞いの基本・応対の基本姿勢	予習	事前にテキストを読んでくこと			
				復習	日常生活で活用してみること			
	第10回	内容	社会人としてのマナー②：職場のルールとマナー・訪問時のマナー	予習	事前にテキストを読んでくこと			
				復習	授業で学んだ事への理解を深め身につけること			
	第11回	内容	電話のかけ方・受け方	予習	事前にテキストを読んでくこと			
				復習	日常生活で活用してみること			
	第12回	内容	女性の生き方とジェンダー① 社会の変化と女性の活躍	予習	自分らしい働き方とは何かを考える			
				復習	女性の社会参画とその意義を理解する			
	第13回	内容	女性の生き方とジェンダー② ワークライフバランスをめぐる問題	予習	日本はなぜワンオペ育児なのかを考える			
				復習	日本と欧米の子育て事情についてまとめる			
	第14回	内容	女性の生き方とジェンダー③ 事例・統計から読み解く女性の生き方	予習	行政、企業、NPOによる女性支援を調べる			
				復習	自己のキャリアプランをレポートにまとめる			
	第15回	内容	まとめと小テスト	予習	全6回の授業内容を振り返る			
				復習	社会人としての足りない基礎力を自覚し身につける			
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	①次回の授業にて、小テストの解答を示し復習・指導する。②演習時に模範解答を示し説明・指導する。 ③レポートは赤ラインを引いて返却し、添削指導する。 ④学生が作成したレポートにコメントを付して返却する。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：前半・後半の評価を合計して最終的な評価を行う。第2～7回：小テスト・レポート（50%）、授業態度（50%） 第9～15回：小テスト（25%）、レポート・課題（25%）、実技・授業への取り組み（50%）						
教科書	『新生活教養』（近喰晴子他、建帛社）							
参考文献	『保育のマナーと言葉』（長島和代編、わかば社）、『平成30年版男女共同参画白書』（内閣府）、『ジェンダーが拓く未来』（北原零未、信田理奈編著、一粒書房）その他は、授業内で随時紹介する							
注意事項	1. 授業は第2～7週（担当：西山）はクラスごとに行い、第9～15週（担当：堀内・信田）はクラスを2つに分ける。 2. 卒業および資格取得のための必修科目なので、全員が履修すること。 3. 女性としての主体的な生き方を理解し、自分らしいキャリアデザインを描きましょう。							

科 目 名	基 礎 演 習 I		単 位 数	1	実務経験	担当教員 はやさか しみずすみこ 早坂めぐみ・清水澄子
ナンバリングコード	SEM12102		授業形態	演習	有・無	
授 業 の 内 容	本科目は、大学での学習に必要な基礎学力である語彙力や文章表現力、保育に関わる基礎用語や敬語について、演習を通じて学ぶ。これらは幼稚園教諭免許や保育士資格取得のための実習における調査書や日誌、指導案の作成に必要である。グループワーク等に積極的に参加し、AL 補習を活用しながら学習を深めることが望まれる。					
到 達 目 標	1. 保育分野の基礎的な用語を正しく書くことができる。 2. 実習日誌や指導案作成に必要な基礎的な文章表現力を身につけている。 3. 御礼状の書き方を正しく理解している。 4. 敬語を正しく使うことができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（①・②・③・④・⑤・⑥・⑦）地域保育学科（1・2・③・④・⑤）文化表現学科（1・2・③・④）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	短大生活での目標を書く／AL 補習の説明	予習	入学前課題を解き直す	
				復習	短大生活での目標をノートにまとめる	
	第 2 回	内容	入学前課題の漢字チェック／ひらがな、カタカナのくせ字を直そう	予習	入学前課題の漢字の書き取り問題を解き直す	
				復習	自身のくせ字を直すために、10 回練習する	
	第 3 回	内容	4 月の漢字／入学前課題の復習 1＜グループワーク＞	予習	教科書 pp. 16-17 の漢字をノートに書く	
				復習	『桃太郎』の絵本を見比べて違いをまとめる	
	第 4 回	内容	確認したい保育基礎用語／敬語の基礎＜グループワーク＞	予習	教科書 pp. 42-47 を読み、要点をまとめる	
				復習	敬語のプリントを解き直す	
	第 5 回	内容	5 月の漢字／文字を正しく書く／文章表現 1	予習	教科書 pp. 18-19 の漢字をノートに書く	
				復習	重複表現の問題を解き直す	
	第 6 回	内容	漢字ステップ 1、2／あて字／文章表現 2	予習	教科書 pp. 96-97 の漢字をノートに書く	
				復習	文章表現のプリントを復習し、問題を解き直す	
	第 7 回	内容	漢字ステップ 3、4／入学前課題の復習 2	予習	教科書 pp. 98-99 の漢字をノートに書く	
				復習	『大河の一滴』を読み直し、要点をまとめる	
	第 8 回	内容	6 月の漢字／敬語 1	予習	教科書 pp. 20-21 の漢字をノートに書く	
				復習	敬語のプリント 1 を解き直す	
	第 9 回	内容	漢字ステップ 5、6／敬語 2	予習	教科書 pp. 100-101 の漢字をノートに書く	
				復習	敬語のプリント 2 を解き直す	
	第 10 回	内容	漢字ステップ 7、8／御礼状を書く 1＜グループワーク＞	予習	教科書 pp. 102-103 の漢字をノートに書く	
				復習	御礼状の内容を整理する	
	第 11 回	内容	保育の方法・形態に関する用語／御礼状を書く 2	予習	教科書 pp. 48-53 を読み、要点をまとめる	
				復習	御礼状の下書きを完成させる	
	第 12 回	内容	7 月の漢字／御礼状を書く 3	予習	教科書 pp. 22-23 の漢字をノートに書く	
				復習	御礼状の清書を完成させる	
	第 13 回	内容	8 月の漢字／保育の計画に関する用語	予習	教科書 pp. 24-25 の漢字をノートに書く	
				復習	教科書 pp. 16-25 を復習し、テストに備える	
	第 14 回	内容	漢字テスト	予習	教科書 pp. 96-103 を復習し、テストに備える	
				復習	テストで書けなかった漢字を 10 回練習する	
	第 15 回	内容	文章表現の確認テスト	予習	文章表現のプリントを解き直す	
				復習	確認テストで間違った問題を解き直す	
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	漢字テストおよび文章表現の確認テストを返却し、コメントする。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 課題（40％）、発表（30％）、授業態度（30％）					
教科書	『改訂版これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社）					
参考文献	なし					
注意事項	必修科目であるので、全員が履修すること。AL（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。					

科 目 名	基 礎 演 習Ⅱ		単 位 数	1	実務経験	担当教員 はやさか しみずすみこ 早坂めぐみ・清水澄子
ナンバリングコード	SEM12103		授業形態	演習	有・無	
授 業 の 内 容	本科目は「基礎演習Ⅰ」を発展させ、保育者に求められる語彙力、読解力、文章表現力を養う。「基礎演習Ⅰ」と同様に保育の基礎用語を学ぶのに加え、保育の実践記録の読み取りやレポートの書き方について演習を通じて学ぶ。グループワーク等には積極的に参加し、AL 補習を活用しながら学習を深めることが望まれる。					
到 達 目 標	1. 専門科目を理解するための読解力を身につけている。 2. 保育分野の基礎的な用語の意味について説明できる。 3. 実習日誌や指導案作成の基礎となる文章表現力を身につけている。 4. レポートの書き方を理解している。					
学位授与方針	幼児教育学科（①・②・③・④・⑤・⑥・⑦）地域保育学科（1・2・③・④・5）文化表現学科（1・2・③・④）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	前期の確認テスト／実習に向けてのワーク<グループワーク>／AL 補習の説明	予習	前期の漢字テストの復習をする	
				復習	テストで間違えた箇所を 10 回ずつ練習する	
	第 2 回	内容	9 月の漢字／保育の実践記録を読む 1 <グループワーク>	予習	教科書 pp. 26-27 の漢字をノートに書く	
				復習	実践記録を読み返し、考察をノートに記述する	
	第 3 回	内容	実習日誌の文章表現／保育の実践記録を読む 2 <グループワーク>	予習	前期の文章表現のプリントを解き直す	
				復習	実践記録を読み返し、考察をノートに記述する	
	第 4 回	内容	実習日誌の考察の書き方／保育の実践記録を読む 3 <グループワーク>	予習	図書館で実習日誌に関する本を探し、読む 1	
				復習	実践記録を読み返し、考察をノートに記述する	
	第 5 回	内容	実習日誌の観察記録の書き方／保育の実践記録を読む 4 <グループワーク>	予習	図書館で実習日誌に関する本を探し、読む 2	
				復習	実践記録を読み返し、考察をノートに記述する	
	第 6 回	内容	1 0 月の漢字／あて字・敬語／実習日誌の文章表現のまとめ	予習	教科書 pp. 28-29 の漢字をノートに書く	
				復習	あて字・敬語に関するプリントを解き直す	
	第 7 回	内容	漢字ステップ 9、1 0／御礼状の書き方ワーク	予習	教科書 pp. 104-105 の漢字をノートに書く	
				復習	自身が書いた御礼状のチェックをし、書き直す	
	第 8 回	内容	1 1 月の漢字／子どもの発達に関する用語／レポートの書き方 1（レポートとは何か）	予習	教科書 pp. 30-31 の漢字をノートに書く	
				復習	図書館で文献を読み、レポートのテーマを探す	
	第 9 回	内容	漢字ステップ 1 1、1 2／子どもの遊びに関する用語／レポートの書き方 2（文献や記事の探し方）	予習	教科書 pp. 106-108 の漢字をノートに書く	
				復習	レポートのテーマを決め、参考文献を読む	
	第 10 回	内容	1 2 月の漢字／生活と栄養に関する用語／レポートの書き方 3（調べたことを整理する）	予習	教科書 pp. 32-33 の漢字をノートに書く	
				復習	レポートの参考文献を読み、要点を整理する	
	第 11 回	内容	1 月の漢字／安全と健康・保健に関する用語／レポートの書き方 4（構成メモを作成する）	予習	教科書 pp. 34-35 の漢字をノートに書く	
				復習	レポートの構成を練り、ノートに整理する	
	第 12 回	内容	2 月の漢字／障がい児保育・気になる子どもに関する用語／レポートの書き方 5（下書きをする）	予習	教科書 pp. 36-37 の漢字をノートに書く	
				復習	レポートの下書きをノートに書き、完成させる	
	第 13 回	内容	3 月の漢字／子育て支援に関する用語／レポートの書き方 6（提出する）	予習	教科書 pp. 38-39 の漢字をノートに書く	
				復習	教科書 pp. 26-33 を復習し、テストに備える	
	第 14 回	内容	漢字テスト／保育者としての職務・安全管理に関する用語／レポートの振り返り 1 <グループワーク>	予習	教科書 pp. 34-39 を復習し、テストに備える	
				復習	テストで書けなかった漢字を 10 回練習する	
	第 15 回	内容	レポートの振り返り 2 <グループワーク>	予習	レポートを読み、3 分間で説明する練習をする	
				復習	レポートを振り返り、反省点をノートに書く	
予習に要する学習時間：概ね 2 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	漢字テストを返却し、コメントする。レポートの振り返りを行い、よかった点や改善点についてコメントする。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート（3 0 %）、課題（4 0 %）、授業態度（3 0 %）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）『改訂版これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社）※「基礎演習Ⅰ」と同じテキストを継続して使用する。					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）なし					
注意事項	必修科目であるので、全員が履修すること。AL（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。					

科 目 名	情報機器操作		単 位 数	2	実務経験	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	EDT12101		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	Microsoft Office に含まれる事務処理系ソフトウェア群のうち、文書作成用ソフトウェア（Word）、表計算用ソフトウェア（Excel）およびプレゼンテーション用ソフトウェア（PowerPoint）の基本的な取り扱い方を学ぶ。 授業の後半では、各ソフトウェアの同時利用などの応用課題に取り組む。						
到 達 目 標	１． 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用法を習得している。 ２． パソコン初心者は、「覚えるよりも慣れること」の大切さを理解している。 ３． パソコン経験者は、「より賢いパソコン活用の仕方」を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（①・②・③・④・⑤・⑥・⑦） 地域保育学科（①・②・③・④・⑤） 文化表現学科（①・②・③・④）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス インターネットでのメール、Windows の基礎知識、日本語の入力、ソフトウェアの起動終了、その他	予習	シラバスを読んでおく。		
				復習	パソコンの基本操作を確実に行う。		
	第 2 回	内容	Word の学習① やさしい文書の作成、その他	予習	Word の編集画面の内容を理解する。		
				復習	適当な文章を用いて入力練習をする。		
	第 3 回	内容	Word の学習② 表の取り扱い、文書の修飾（フォント、下線、網かけ、レイアウト、等々）、その他	予習	表の取り扱い（Word の場合）について確認する。		
				復習	指定された課題（表付き文書）を作成する。		
	第 4 回	内容	Word の学習③ 文章の修飾（クリップアート、ワードアート、図・画像の挿入、ページ罫線）、その他	予習	文書の基本的な修飾機能について確認する。		
				復習	指定された課題（修飾付き文書）を作成する。		
	第 5 回	内容	Word の学習④ やや高度な文書加工（ページ番号、ヘッダー・フッター、段落、文字列の検索・置換）、その他	予習	文書の応用的な修飾機能について確認する。		
				復習	指定された課題（応用修飾付き文書）を作成する。		
	第 6 回	内容	Excel の学習① 基本的な表（数表）の作成、その他	予習	Excel の編集画面の内容を理解する。		
				復習	表作成を通して、Word の操作との違いを理解する。		
	第 7 回	内容	Excel の学習② 表（数表）の作成（関数の取り扱い、文字の装飾、行・列の加工、等々）、その他	予習	資料類にて示された組み込み関数を確認する。		
				復習	指定された課題（計算付き数表）を作成する。		
	第 8 回	内容	Excel の学習③ より高度なデータ処理（条件判定、セル参照、グラフ）、その他	予習	条件判定の指定方法について確認する。		
				復習	指定された課題（条件付き数表）を作成する。		
	第 9 回	内容	Excel の学習④ より高度なデータ処理（簡単なデータベース、フィルタリング）、その他	予習	入力値の並べ替え方法について確認する。		
				復習	指定された課題（入力値の抽出処理）を作成する。		
	第 10 回	内容	PowerPoint の学習① スライド作成の基本（文字入力、スライドの挿入・削除・置換）、その他	予習	PowerPoint の編集画面の内容を理解する。		
				復習	指定された課題（簡単なスライド）を作成する。		
	第 11 回	内容	PowerPoint の学習② スライド作成の応用（図表・画像の挿入、アニメーション効果）、その他	予習	スライドの応用的な修飾方法について確認する。		
				復習	指定された課題（前回の成果物の改良）を作成する。		
	第 12 回	内容	Word および Excel の応用① 長文レポート（鑑賞文など）の作成、その他	予習	Word および Excel の基本操作を再確認する。		
				復習	指定された課題（両ソフトの同時利用）を作成する。		
	第 13 回	内容	Word および Excel の応用② 各ソフトウェアの同時使用、Excel を利用した数学問題の解答、その他	予習	Word および Excel の応用操作を再確認する。		
				復習	指定された課題（数学問題の求解など）を作成する。		
	第 14 回	内容	PowerPoint の応用 Word および Excel を併用したより高度なスライドの作成、その他	予習	PowerPoint の基本操作を再確認する。		
				復習	指定された課題（授業時に指示する）を作成する。		
	第 15 回	内容	全体のまとめ 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用法について、各自の見解をまとめる。	予習	これまでに配布済みの全資料類に目を通しておく。		
				復習	授業時に指定された内容のレポートを作成する。		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出されたレポート・課題については、必要に応じて改訂増補された成果物の再提出を求める。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（５０％）、授業態度（５０％）						
教科書	プリントを随時配布する。						
参考文献	プリントを随時配布するほか、必要に応じて随時紹介する。						
注意事項	１． 幼稚園教諭二種免許を必要とする人は、この科目の単位を修得すること。 ２． パソコンの操作はピアノの演奏と同じく、触れる機会が多ければ多いほど早く上達する。 ３． 無断欠席、無断遅刻等々、「無断～」な言動は厳禁とする。						

科 目 名	情報機器操作	単 位 数	2	実務経験	担当教員	きむ じょうく 金 宰 郁
ナソバ・リンク・コート*	EDT12101	授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	教育に関連する文書業務・情報交換・情報収集等は、コンピュータによりその多くが行われていると考えられる。本科目では、幼児教育を行う方法の上での技術として、情報機器を利用するには、どのような考え方でどのような情報機器を用いて行うことが最も適切なのかについて理解を図る。					
到 達 目 標	情報分野の基本的なスキルであるコンピュータリテラシーを身につけ、コンピュータを使いこなすことを目標とし、授業を行う。 1. ワードプロソフト「Word」の習得によりそれぞれの文書を作成できる 2. プレゼンテーションソフトの習得によりレポート作成に対応できる 3. 情報処理検定及びワードプロ検定試験の資格証取得ができる					
学位授与方針	幼児教育学科（1・②③④・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内 容	この授業科目に関するガイダンスおよび自己紹介 文作成・提出	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第 2 回	内 容	Windows の基本操作(1)：OS、GUI など	予習	USB メモリの準備する	
				復習	Windows の OS、GUI についてまとめる	
	第 3 回	内 容	Windows の基本操作(2)：ファイル管理、種類、文書の保存・読込み、その他	予習	ID、パスワードの準備する	
				復習	タイピングを練習する	
	第 4 回	内 容	絵の作成の基礎：絵描きソフト（ペイント）による課題の作成および提出	予習	ペイントについて調べる	
				復習	課題についてまとめる	
	第 5 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の基礎(1)：文書形式、文書のコピー・移動・削除の関連課題の作成および提出	予習	提出課題の準備	
				復習	課題についてまとめる	
	第 6 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の基礎(2)：文字サイズの変更、文字揃えなどの関連課題の作成および提出	予習	提出課題の準備	
				復習	課題についてまとめる	
	第 7 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の基礎(3)：均等割付・段組、縦書き文字などの関連課題の作成および提出	予習	提出課題の準備	
				復習	課題についてまとめる	
	第 8 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の基礎(4)：表作成と編集①の関連課題の作成および提出	予習	提出課題の準備	
				復習	課題についてまとめる	
	第 9 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の応用：表作成と編集②の関連課題の作成および提出	予習	提出課題の準備	
				復習	課題についてまとめる	
	第 10 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の応用：図形描画の関連課題作成、及び提出	予習	提出課題の準備	
				復習	課題についてまとめる	
	第 11 回	内 容	日本語ワープロソフト「Word」の応用：段組み、ドロップキャップ、ページ罫線の関連課題作成、及び提出	予習	提出課題の準備	
				復習	課題についてまとめる	
	第 12 回	内 容	プレゼンテーション「PowerPoint」1：発表の構成の編集、その他	予習	プレゼンの注意事項	
				復習	教科書・資料の確認	
	第 13 回	内 容	プレゼンテーション「PowerPoint」2：発表のスライド、オブジェクトの編集、その他	予習	グループワーク	
				復習	教科書・資料の確認	
	第 14 回	内 容	プレゼンテーション「PowerPoint」3：発表の準備、その他	予習	リハーサル	
				復習	教科書・資料の確認	
	第 15 回	内 容	プレゼンテーション発表：グループごとに PowerPoint で1つの作品を作り、発表	予習	リハーサル	
				復習	発表の振り返り	
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	作成した課題にコメントを行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度（30%）					
教科書	『文科系学生のための情報活用』（立野貴之、共立出版）					
参考文献	『知りたい操作がすぐわかる Word2013 全機能 Bible』（西上原裕明、技術評論社）					
注意事項	出席時間数が授業時間数の3分の2以上であり、かつ、課題、最終作品、発表、平常点等の成績を総合して合格と判断された場合、所定の単位が与えられる。					

科 目 名	英 語		単 位 数	2	実務経験	担当教員	なかじま なおき 中 島 尚樹
ナンバリングコード	ENL12101		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	この授業は、実践的な英語力の基礎を身につけるためのものです。日常生活の身近な話題に関して、英語で理解し、表現できるようになることを目指します。基本的な文法と語彙の学習から英作文に至るまで発信型の練習をしていきます。また、月の名前の由来など文化的な話題や英語の素朴な疑問などにも触れたいと思っています。						
到 達 目 標	1．Be 動詞の構文（現在と過去）を正しく使うことができる。 2．一般動詞の構文（現在と過去）を正しく使うことができる。 3．日常生活の出来事を言い表すのに必要な基本的な語彙を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・③・4・5・6・⑦）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業説明 (年間の授業の流れ、評価方法、履修上の 注意点など)	予習	シラバスを読む。		
				復習	1 年間の授業の流れを把握する。		
	第 2 回	内容	文法：名詞と代名詞 (名詞と代名詞の種類、主格の代名詞)	予習	名詞や代名詞の分類を試みる。		
				復習	指示に沿って代名詞についてまとめる。		
	第 3 回	内容	Pre-Unit 品詞と語順 (英語の品詞と基本語順)	予習	Pre-Unit の部分を読んで、問題をやってみる。		
				復習	各品詞の例を自分で考えてみる。		
	第 4 回	内容	文法：Be 動詞の現在形 (Be 動詞＋名詞句、Be 動詞＋形容詞句)	予習	プリントの説明部分を読む。		
				復習	プリントの練習問題をもう一度やる。		
	第 5 回	内容	文法：Be 動詞の過去形 (Be 動詞＋名詞句、Be 動詞＋形容詞句)	予習	プリントの説明部分を読む。		
				復習	知らなかった単語をまとめ、単語帳を作る。		
	第 6 回	内容	Unit 1 First Day of Class (be 動詞の構文)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。		
				復習	リスニングの部分を聞いて練習(音読)する。		
	第 7 回	内容	文法：There 構文 (人やモノの存在を表す表現)	予習	プリントの説明部分を読む。		
				復習	プリントの練習問題をもう一度やる。		
	第 8 回	内容	文法：一般動詞の現在形(肯定文) (主語によって変わる現在形の動詞の形)	予習	プリントの説明部分を読む。		
				復習	プリントの練習問題をもう一度やる。		
	第 9 回	内容	文法：一般動詞の現在形(疑問文・否定文) (Do/Does と don' t/doesn' t の使い方)	予習	プリントの説明部分を読む。		
				復習	知らなかった単語をまとめ、単語帳を作る。		
	第 10 回	内容	Unit 2 I Love Bread! (一般動詞の現在形)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。		
				復習	リスニングの部分を聞いて練習(音読)する。		
	第 11 回	内容	Unit 3 Pizza Time (可算名詞と不可算名詞)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。		
				復習	リスニングの部分を聞いて練習(音読)する。		
	第 12 回	内容	Unit 4 Not Just a Baker (代名詞：所有格、目的格)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。		
				復習	リスニングの部分を聞いて練習(音読)する。		
	第 13 回	内容	文法：時点を表す副詞的な表現 (基本的な時間表現と前置詞の有無)	予習	これまで出てきた時間表現をまとめる。		
				復習	知らなかった単語をまとめ、単語帳を作る。		
	第 14 回	内容	Unit 7 I Feel Healthy Already! (時と場所を表す前置詞)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。		
				復習	リスニングの部分を聞いて練習(音読)する。		
	第 15 回	内容	まとめ：be 動詞と一般動詞の現在形など。 (文法問題の練習と英作文)	予習	前期学んだ文法項目をまとめる。		
				復習	前期分の単語を整理してまとめる。		
	第 16 回	内容	文法：現在と過去の区別(時制) (過去の時点を表す副詞と動詞の形)	予習	プリントの説明部分を読む。		
				復習	プリントの練習問題をもう一度やる。		
	第 17 回	内容	文法：一般動詞の過去形(肯定文) (規則動詞と不規則動詞)	予習	プリントの説明部分を読む。		
				復習	プリントの練習問題をもう一度やる。		
	第 18 回	内容	文法：一般動詞の過去形(疑問文・否定文) (Did … と didn' t の使い方)	予習	プリントの説明部分を読む。		
				復習	プリントの練習問題をもう一度やる。		
	第 19 回	内容	Unit 5 What' s Wrong with Hitomi? (一般動詞の過去形)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。		
				復習	リスニングの部分を聞いて練習(音読)する。		
	第 20 回	内容	文法：Wh 疑問文の種類	予習	知っている疑問詞をまとめる。		

			(疑問詞が主語の場合とそれ以外の場合)	復習	知らなかった単語をまとめ、単語帳を作る。
授 業 計 画	第 21 回	内容	Unit 13 I' m Meeting a Friend (疑問詞)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。
				復習	リスニングの部分聞いて練習(音読)する。
	第 22 回	内容	Unit 11 Hitomi wants a New Look (接続詞)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。
				復習	リスニングの部分聞いて練習(音読)する。
	第 23 回	内容	文法：現在進行形と過去進行形 (現在時や過去のある時点の動作の進行を表す表現)	予習	プリントの説明部分を読む。
				復習	知らなかった単語をまとめ、単語帳を作る。
	第 24 回	内容	Unit 6 It Won' t Hurt (進行形)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。
				復習	リスニングの部分聞いて練習(音読)する。
	第 25 回	内容	文法：未来の表現 (be going to と will)	予習	プリントの説明部分を読む。
				復習	プリントの練習問題をもう一度やる。
	第 26 回	内容	Unit 8 Small Talk (未来形)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。
				復習	リスニングの部分聞いて練習(音読)する。
	第 27 回	内容	文法：法助動詞 (can/could, may/might, should, must/have to)	予習	プリントの説明部分を読む。
				復習	プリントの練習問題をもう一度やる。
	第 28 回	内容	Unit 14 Date Night (助動詞)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。
				復習	リスニングの部分聞いて練習(音読)する。
	第 29 回	内容	Unit 12 Shopping for Clothes (動名詞/不定詞)	予習	テキストの Grammar Aid の部分を読む。
復習				リスニングの部分聞いて練習(音読)する。	
第 30 回	内容	まとめ：一般動詞の過去形、現在・過去進行形、未来表現など。(文法問題の練習と英作文)	予習	これまでの語彙を整理して総復習する。	
			復習	試験に出る英作文を覚える。	
予習に要する学習時間：概ね 15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45分を目安とする。					
課題へのフィードバック	試験は、試験後に各問の解答の解説をし、達成度に関してコメントを加えます。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する／()しない 成績評価の方法：筆記試験(70%)、課題(20%)、授業態度(10%)				
教科書	English Aid (Robert Hickling・臼倉美里、金星堂)				
参考文献	なし				
注意事項					

科 目 名	英 語		単位数	2	実務経験	担当教員	すがま ゆきお 須釜 幸男
ナショナル・コード*	ENL12101		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	子どもや家庭、保育者が暮らす社会環境を英語や英語文化の点から把握し、胎児期から学齢期の発育発達と言語（英語）習得との関係を理解する。子ども各自の心理状態や英語の習得状況を観察し、適切な英語学習法と教材、テーマを提供・援助できる力を身に付けることを目的とする。						
到 達 目 標	1．旺盛な知的好奇心と高い感性の素地となる基礎学力（英語力）の重要性を理解している 2．保育者たる意志と学習意欲、社会人たるマナーや時事感覚を多文化的に身に付けている 3．他者理解と自己伝達とのバランスのとれたコミュニケーション能力を身に付けている						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内 容	前期ガイダンス	予 習	シラバスを事前に読んでおく		
				復 習	当科目で前期に習得すべき内容を理解する		
	第 2 回	内 容	TOEIC® Part 1 の解説・演習 ：写真描写問題	予 習	写真描写問題の概略を事前に調べておく		
				復 習	写真描写問題の傾向と解法をまとめる		
	第 3 回	内 容	TOEIC® Part 2 の解説・演習 ：応答問題	予 習	応答問題の概略を事前に調べておく		
				復 習	応答問題の傾向と解法をまとめる		
	第 4 回	内 容	TOEIC® Part 3 の解説・演習 ：会話問題	予 習	会話問題の概略を事前に調べておく		
				復 習	会話問題の傾向と解法をまとめる		
	第 5 回	内 容	TOEIC® Part 4 の解説・演習 ：説明文問題	予 習	説明文問題の概略を事前に調べておく		
				復 習	説明文問題の傾向と解法をまとめる		
	第 6 回	内 容	TOEIC® Part 5 の解説・演習 ：短文穴埋め問題	予 習	短文穴埋め問題の概略を事前に調べておく		
				復 習	短文穴埋め問題の傾向と解法をまとめる		
	第 7 回	内 容	TOEIC® Part 6 の解説・演習 ：長文穴埋め問題	予 習	長文穴埋め問題の概略を事前に調べておく		
				復 習	長文穴埋め問題の傾向と解法をまとめる		
	第 8 回	内 容	TOEIC® Part 7 の解説・演習 ：一つ・複数の文章問題	予 習	各文章問題の概略を事前に調べておく		
				復 習	各文章問題の傾向と解法をまとめる		
	第 9 回	内 容	上半期のまとめ	予 習	既習プリントを読み込み、不明点を抽出する		
				復 習	不明点を解消し、重要事項をまとめる		
	第 10 回	内 容	時事英語 ：政治分野・経済分野	予 習	政治・経済記事の特徴を事前に調査する		
				復 習	政治・経済面の見出し、略語、表記を整理する		
	第 11 回	内 容	時事英語 ：社会分野・文化分野	予 習	社会・文化記事の特徴を事前に調査する		
				復 習	社会・文化面の見出し、略語、表記を整理する		
	第 12 回	内 容	時事英語 ：芸術分野・スポーツ分野	予 習	芸術・スポーツ記事の特徴を事前に調査する		
				復 習	芸術・運動面の見出し、略語、表記を整理する		
	第 13 回	内 容	時事英語 ：エンターテインメント分野・国際分野	予 習	エンタメ・国際記事の特徴を事前に調査する		
				復 習	芸能・国際面の見出し、略語、表記を整理する		
	第 14 回	内 容	下半期のまとめ	予 習	既習プリントを読み込み、不明点を抽出する		
				復 習	不明点を解消し、重要事項をまとめる		
	第 15 回	内 容	前期授業全体のまとめ	予 習	既習項目を列挙し、得意・不得意を分析する		
				復 習	既習項目を体系化し、不得意の克服を図る		
	第 16 回	内 容	後期ガイダンス	予 習	シラバスを事前に読んでおく		
				復 習	当科目で後期に習得すべき内容を理解する		
	第 17 回	内 容	幼児向け文学に触れる ：欧州・米国	予 習	地域歴史と題材表現法の違いを事前に調べる		
				復 習	事前調査での不足点を補足する		
	第 18 回	内 容	幼児向け文学に触れる ：日本・アジア	予 習	地域歴史と題材表現法の違いを事前に調べる		
				復 習	事前調査での不足点を補足する		
	第 19 回	内 容	幼児向け映画を鑑賞する ：欧州・米国	予 習	地域性とシーンの関係性を事前に調べる		
				復 習	保育現場で活用できる演技をまとめる		
	第 20 回	内 容	幼児向け映画を鑑賞する ：日本・アジア	予 習	地域性とシーンの関係性を事前に調べる		
				復 習	保育現場で活用できる演技をまとめる		

授 業 計 画	第 21 回	内容	幼児向け音楽を鑑賞する ：欧州・米国	予習	地域歴史と歌詞曲調の関係を事前に調べる
				復習	保育現場で活用できるフレーズをまとめる
	第 22 回	内容	幼児向け音楽を鑑賞する ：日本・アジア	予習	地域歴史と歌詞曲調の関係を事前に調べる
				復習	保育現場で活用できるフレーズをまとめる
	第 23 回	内容	上半期のまとめ	予習	既習プリントを読み込み、不明点を抽出する
				復習	不明点を解消し、重要事項をまとめる
	第 24 回	内容	保育をめぐる海外事情を知る ：欧州・米国	予習	各メディアで近況動向を事前に調べておく
				復習	事前調査と授業との整合性を図り、理解する
	第 25 回	内容	保育をめぐる海外事情を知る ：日本・アジア	予習	各メディアで近況動向を事前に調べておく
				復習	事前調査と授業との整合性を図り、理解する
	第 26 回	内容	保育・子どもに用いる会話 ：喜怒哀楽の表現	予習	喜怒哀楽で学びたい表現を事前に抽出する
				復習	保育の一日の流れに即して、整理してみる
	第 27 回	内容	保育・子どもに用いる会話 ：家庭生活での表現	予習	家庭生活で学びたい表現を事前に抽出する
				復習	保育の一日の流れに即して、整理してみる
課 題 へ の フ ィ ー ド バ ッ ク	第 28 回	内容	保育・子どもに用いる会話 ：集団生活での表現	予習	集団生活で学びたい表現を事前に抽出する
				復習	保育の一日の流れに即して、整理してみる
	第 29 回	内容	下半期のまとめ	予習	既習プリントを読み込み、不明点を抽出する
				復習	不明点を解消し、重要事項をまとめる
	第 30 回	内容	後期授業全体のまとめ	予習	既習項目を列挙し、得意・不得意を分析する
				復習	既習項目を体系化し、不得意の克服を図る
	予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（50%）、授業態度（50%）（注）単元の終了ごとに小テストを実施する。				
教科書	「なし」 毎回、プリント（A4サイズ）を配布しますので、収納用クリアフォルダ（A4サイズ）を1枚ご用意ください。例年、他科目と混入して紛失・汚損する学生が出ます。再配布は行ないませんので、「英語」授業専用のクリアフォルダを必ず用意すること。				
参考文献	毎回配布するプリントで随時、紹介します。				
注意事項	「英語とコンピュータのスキルがあれば食いつばぐれない」という台詞が少し前に盛んに交わされました。グローバル化時代に突入し、それはより切実に、私達に迫っています。今後は一先ず、英語の「得意・不得意」や「好き・嫌い」は脇に置き、この授業を通じて、皆さんが英語というものに関わり、自分なりに親しみながら、英語の4技能（読書聞話）のイロハを体得していきましょう。				

科 目 名	表現とアート		単 位 数	2	実務経験	担当教員 おぐち すぐる しか と かずのり 小口 偉 ・ 鹿戸 一範
ナショナル・コード	ARE12101		授業形態	講義	有 ・ 無	
授 業 の 内 容	保育所、幼稚園における表現指導や方法について、実際の体験を通して理解を深める。また、実際の現場でも取り扱える内容を扱うことで保育技術を高める。					
到 達 目 標	1. 子どもたちの表現活動の意義を理解している。 2. 子どもたちと活動が楽しめる技術、視点、方法を身につけている。 3. ピアノを中心とした鍵盤楽器の基本的な奏法を修得している。 4. 音楽の楽しさや美しさ感じながら、歌や楽器演奏を通して表情豊かに表現することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・③・4・5・⑥・⑦）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	新聞紙での遊び 1 「つなげる」	予習	参考書等の紙の活動に関することを読み込む	
				復習	身近な紙の触り心地を確かめておく	
	第 2 回	内容	新聞紙での遊び 2 「まとう」	予習	参考書等の紙の活動に関することを読み込む	
				復習	身近な紙の触り心地を確かめておく	
	第 3 回	内容	新聞紙での遊び 3 「まみれる」	予習	参考書等の紙の活動に関することを読み込む	
				復習	身近な紙の触り心地を確かめておく	
	第 4 回	内容	幼児とクレヨン、パス 1 「スクリブル」	予習	参考書等のクレヨン、パスに関する項目を読み込む。	
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。	
	第 5 回	内容	幼児とクレヨン、パス 2 「操作する」	予習	参考書等のクレヨン、パスに関する項目を読み込む。	
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。	
	第 6 回	内容	幼児とえのぐ えのぐを体験する	予習	描くこととは何かノートに書き出し持参する。	
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。	
	第 7 回	内容	仕掛けを用いた指導教材制作 1 試作から仕組みを理解する	予習	参考書等の工作に関する記述について読む。	
				復習	体験内容をノートにまとめる。	
	第 8 回	内容	楽譜のしくみ	予習	配布されたプリントを読み込む	
				復習	講義内容をノートにまとめる。	
	第 9 回	内容	音名・音符と休符	予習	配布されたプリントを読み込む	
				復習	講義内容をノートにまとめる。	
	第 10 回	内容	拍子とリズム	予習	配布されたプリントを読み込む	
				復習	講義内容をノートにまとめる。	
	第 11 回	内容	季節の歌 「春」	予習	課題曲の予習。	
				復習	指摘を受けた点を中心に練習しておく。	
	第 12 回	内容	季節の歌 「夏」	予習	課題曲の予習。	
				復習	指摘を受けた点を中心に練習しておく。	
	第 13 回	内容	季節の歌 「秋」	予習	課題曲の予習。	
				復習	指摘を受けた点を中心に練習しておく。	
	第 14 回	内容	季節の歌 「冬」	予習	課題曲の予習。	
				復習	指摘を受けた点を中心に練習しておく。	
	第 15 回	内容	まとめと振り返り	予習	これまでの授業内容の復習。	
				復習	これまでの授業について整理しておく。	
予習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	各提出課題に対し採点をする。返却の際に保育現場での実践方法や注意点などをその都度伝える。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ %）					
教科書	なし					
参考文献	なし					
注意事項	30 名定員。定員を超える場合抽選になります。					

科 目 名	保育原理 I		単 位 数	2	実務経験	担当教員 あさい た く や 浅井 拓久也
ナソパ®リンク®コード*	EDU12101		授業形態	講義	有・無	
授 業 の 内 容	保育学や幼児教育学に関する基本的な知識、理論、思想を学ぶことを目的とする。また、保育所実習につながるように、考える、話し合う、作る、演じる、発表するという、受講生の能動的な取り組みを取り入れた授業を行う。					
到 達 目 標	1. 保育学や幼児教育学の基本的な知識、理論、思想を説明できる。 2. 保育所実習に生かせる自分の得意分野を理解している。 3. 他者と対話を重ねながら主体的に学ぶ方法を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科 (1・②③④⑤・6・⑦) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育原理を学ぶ理由とは	予習	シラバス及び教科書の目次を読む	
				復習	保育原理を学ぶ理由を3つ書く	
	第 2 回	内容	子ども・子育て支援新制度 (1)	予習	地域型保育について調べる	
				復習	3施設の違いを理解する	
	第 3 回	内容	子ども・子育て支援新制度 (2)	予習	利用者支援事業について調べる	
				復習	13事業の要点をまとめる	
	第 4 回	内容	保育士・保育所の専門性とは	予習	保育士に関する新聞記事を読む	
				復習	保育士の専門性を身につける方法を考える	
	第 5 回	内容	子どもの発達過程の即した保育 (1)	予習	発達とは何か調べる	
				復習	月齢別の発達の特徴を理解する	
	第 6 回	内容	子どもの発達過程に即した保育 (2)	予習	発達理論には何があるか調べておく	
				復習	発達に即した保育の事例を調べる	
	第 7 回	内容	保育の目標と方法	予習	保育所保育指針の第1章 (1) を読む	
				復習	自分なりの保育の目標を3つ書く	
	第 8 回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育 (1)	予習	倉橋惣三について調べる	
				復習	子どもにとっての生活の意味を考える	
	第 9 回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育 (2)	予習	環境を通した学びとは何かを考える	
				復習	環境構成のあり方についてまとめる	
	第 10 回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育 (3)	予習	保育所保育指針の第2章を読む	
				復習	5領域とは何かまとめる	
	第 11 回	内容	保育の計画 (全体的な計画・指導計画)	予習	保育所保育指針の第1章 (3) を読む	
				復習	保育の計画の役割についてまとめる	
	第 12 回	内容	保育の計画 (保育の記録)	予習	保育の記録には何があるか調べる	
				復習	保育の記録の役割についてまとめる	
	第 13 回	内容	保育の思想と歴史的変遷 (1)	予習	フレーベルについて調べる	
				復習	保育の思想と理論をまとめる	
	第 14 回	内容	保育の思想と歴史的変遷 (2)	予習	レジオエミリアについて調べる	
				復習	プロジェクト活動とは何かまとめる	
	第 15 回	内容	保育原理での学びを振り返る	予習	第1回から第14回までのノートを見直す	
				復習	保育原理から学んだことを書く	
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する／ () しない 成績評価の方法： 筆記試験 (70%)、作品・発表 (20%)、授業態度 (10%)					
教科書	『マンガでわかる！保育所保育指針 2017年告示対応版』(浅井拓久也、中央法規出版)					
参考文献	『保育所保育指針 (平成29年告示)』(厚生労働省、フレーベル館)					
注意事項	現役保育士によるゲスト講義や、認定こども園の園見学を行う。(予定)					

科 目 名	保育原理Ⅱ		単 位 数	2	実務経験	担当教員 あさい た く や 浅井 拓久也
ナシバ [※] リンク [※] コード [※]	EDU12102		授業形態	講義	有・無	
授 業 の 内 容	保育所保育指針や子ども子育て支援新制度等の成立過程や実際の運営状況を通じて、保育の原理や制度、現在の課題を深く理解する。また、保育学の論文を読むことで、保育の理論や研究方法を学ぶ。					
到 達 目 標	1. 保育所保育指針や子ども子育て支援新制度の背景と課題を説明できる。 2. 保育学の論文の読み方や書き方を身につけている。 3. 量的調査および質的調査の基本的な設計ができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・②③④⑤・6・⑦）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第1回	内容	あなた自身の問いを立てる	予習	シラバス及び教科書の目次を読む	
				復習	保育原理Ⅱを学ぶ理由を3つ書く	
	第2回	内容	保育所保育指針の概要：第1章	予習	保育所保育指針の第1章を読む	
				復習	保育所保育の特徴をまとめる	
	第3回	内容	保育所保育指針の概要：第2章	予習	保育所保育指針の第2章を読む	
				復習	養護の重要性についてまとめる	
	第4回	内容	保育所保育指針の概要：第3～5章	予習	保育所保育指針の第3～5章を読む	
				復習	事故防止・対策の原則についてまとめる	
	第5回	内容	保育所児童保育要録の概要と書き方	予習	保育所児童保育要録とは何か調べる	
				復習	幼稚園の要録との違いを調べる	
	第6回	内容	ドキュメンテーションの概要	予習	レジャエミリアについて調べる	
				復習	レジャエアプローチについてまとめる	
	第7回	内容	ドキュメンテーションの活用方法	予習	保育所で活用している事例を調べる	
				復習	授業を踏まえて実際に自分で作る	
	第8回	内容	保育学における量的調査：方法論	予習	量的調査とは何か調べる	
				復習	多変量解析についてまとめる	
	第9回	内容	保育学における量的調査：事例分析	予習	量的調査を行った論文を調べる	
				復習	自分なりの量的調査を設計する	
	第10回	内容	保育学における質的調査：方法論	予習	質的調査とは何か調べる	
				復習	エスノメソドロジーについてまとめる	
	第11回	内容	保育学における質的調査：事例分析	予習	質的調査を行った論文を調べる	
				復習	自分なりの質的調査を設計する	
	第12回	内容	地域子育て支援拠点事業の概要	予習	地域子育て支援拠点事業とは何か調べる	
				復習	あなたが住んでいる地域の拠点施設を調べる	
	第13回	内容	利用者支援事業の概要	予習	利用者支援事業とは何か調べる	
				復習	利用者支援専門員に関する新聞記事を読む	
	第14回	内容	技術的熟達者と省察の実践者	予習	省察とは何か調べる	
				復習	自分なりの省察方法を考える	
	第15回	内容	保育学の今後の展望と課題	予習	第1回から第14回までのノートを見直す	
				復習	保育原理Ⅱから学んだことを書く	
予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（90％）、授業態度（10％）					
教科書	『活動の見える化で保育力アップ！ドキュメンテーションの作り方&活用術』（浅井拓久也、明治図書）					
参考文献	『保育所保育指針（平成29年告示）』（厚生労働省、フレーベル館）					
注意事項	大学や大学院に進学を希望する等、保育学をより深く学びたい学生を対象とする。					

科 目 名	教育原理		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子
ナシパ®リンク®コード*	EDU12103		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	教育を受けることや学校に通えることは、あたりまえのことなのか、という疑問から「教育」や「学校」について考え直してみることを通して、単純に事象的そして経験的にのみとらえることなく、本質的に理解するために必要な基礎的知識や考え方を習得することをねらいとし、未来を展望する教育のあり方や教育改革の方向性について、主体的に考えていくきっかけを提供していく。						
到 達 目 標	1. 人間にとっての「教育」の必要性を理解している。 2. 歴史的に女性や子どもがどのような立場であったかを理解している。 3. 近代学校制度の成立やその限界について理解している。 4. これからの未来を展望した教育のあり方を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・④・⑤・⑥・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：履修上の注意や説明	予習	教科書の指定箇所を熟読しておく。		
				復習	大切な事項をメモしておく。		
	第 2 回	内容	「教育」を受けられることや「学校」に通うことについて考える	予習	自分の教育や学校体験を振り返る。		
				復習	疑問に思ったことをまとめる。		
	第 3 回	内容	教育の意義を考える	予習	野生児についての事例を調べる。		
				復習	人間にとっての教育についてまとめる。		
	第 4 回	内容	教育や学校の語義について考える	予習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				復習	語義についてまとめておく。		
	第 5 回	内容	教育の可能性と限界について考える	予習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				復習	ルソーについて調べまとめておく。		
	第 6 回	内容	学校の誕生とその歩みについて考える	予習	学校について調べる。		
				復習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
	第 7 回	内容	近代学校制度について考える	予習	近代学校の成立と性質について調べておく。		
				復習	義務教育制度についてまとめておく。		
	第 8 回	内容	少年兵や児童労働について考える	予習	少年兵や児童労働について調べておく。		
				復習	他国の子どもの状況についてまとめておく。		
	第 9 回	内容	子どもにとっての幸せについて考える	予習	幸せとは何かについて調べておく。		
				復習	自分なりの考えをまとめておく。		
	第 10 回	内容	教育と戦争について考える	予習	日本の戦前・戦中について調べておく。		
				復習	配布した資料に目を通しまとめておく。		
	第 11 回	内容	戦争と子どもについて考える	予習	世界の戦争や紛争について調べておく。		
				復習	戦時下の子どもについて詳しく調べておく。		
	第 12 回	内容	幼稚園と保育所の誕生	予習	就学前教育の歴史について調べる。		
				復習	幼稚園や保育所の歴史についてまとめておく。		
	第 13 回	内容	幼稚園と保育所の歩み	予習	幼稚園や保育所の現状について調べる。		
				復習	未来の幼児教育についてまとめておく。		
	第 14 回	内容	今後の教育のあり方について考える	予習	教育改革や方法について調べておく。		
				復習	興味をもった教育方法についてまとめておく。		
	第 15 回	内容	まとめ	予習	これまでの重要事項を確認しておく。		
				復習	自分自身の弱点についてまとめておく。		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業中に小レポートならびに課題を実施し、どのように事柄について記載すべきか指導しようと思う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50％）、レポート・課題（25％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（25％）						
教科書	『教育原理』（林邦雄・谷田貝公昭〔監修〕、大沢 裕〔編集〕、一藝社）						
参考文献	授業中に適宜、プリントを配布したり、紹介したりする。						
注意事項	主体的に文章を読み、書くことに慣れ親しむことや、積極的に調べる習慣をつけてほしい。						

科 目 名	子ども家庭福祉		単 位 数	2	実務経験	担当教員	し の は ら あ み 志濃原 亜美
ナソパリンクコード	SWS12101		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	子ども家庭福祉の歴史の変遷と現代社会における子ども家庭福祉の意義を理解する。そのうえで、子どもと家庭に関する福祉の制度や実施体系など具体的なことを学ぶ。 また、少子化・母子保健・児童虐待・社会的養護・障がいのある児童の対応などをはじめとする子ども家庭福祉の現状と課題について理解し、特に子ども家庭福祉と保育の関連性や子どもの権利擁護などについて理解を深める。						
到 達 目 標	１． 子どもや家庭に関する法や施設など基本的なことが理解できる。 ２． 子どもをとりまく問題についての理解を深めたうえで、それらの早期発見の方法や解決への道筋を知ることができる。 ３． 子どもの権利擁護について理解できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・②・３・４・⑤・６・７） 地域保育学科（１・２・３・４・５） 文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する		
	第 2 回	内容	子ども家庭福祉に関する法律①（児童福祉法の概要）	予習	児童福祉法のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉法についてのおおまかな理解をする。		
	第 3 回	内容	子ども家庭福祉に関する法律②（児童福祉法の具体的内容）	予習	児童福祉法のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉法の具体的な内容を理解する		
	第 4 回	内容	子どもに関する権利思想の流れ	予習	子どもの権利についてのプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	子どもの権利思想の流れを理解する		
	第 5 回	内容	子ども家庭福祉の歴史①（明治期）	予習	子ども家庭福祉の歴史のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	明治期における子ども家庭福祉の歴史を理解する		
	第 6 回	内容	子ども家庭福祉の歴史②（明治期から戦前）	予習	子ども家庭福祉の歴史のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	明治期から戦前にかけての子ども家庭福祉の歴史を理解する		
	第 7 回	内容	V T R（澤田美喜物語・・・福祉施設創設者の物語）課題感想文	予習	今まで習った子ども家庭福祉に関する法や歴史を概観する		
				復習	課題：感想文を書く		
	第 8 回	内容	福祉専門職としての保育士	予習	福祉専門職としての保育士のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉法等に明記されている保育士について理解する		
	第 9 回	内容	児童福祉施設及び里親の概要①（施設の種類）	予習	児童福祉施設のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉施設の種類を覚える		
	第 10 回	内容	児童福祉施設及び里親の概要②（施設の目的）	予習	児童福祉施設のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉施設や里親の目的を理解する		
	第 11 回	内容	子ども家庭福祉の行政機関（児童相談所を中心に）	予習	児童相談所の業務や相談内容についての穴埋めプリントを完成させる		
				復習	児童相談所の業務や相談内容について理解する		
	第 12 回	内容	児童虐待①（児童虐待の種類、法制度）	予習	児童虐待の種類。法制度の穴埋めプリントを完成させる		
				復習	児童虐待の種類や法制度を理解する		
	第 13 回	内容	児童虐待②（児童虐待の実際）	予習	児童虐待の実際についての穴埋めプリントを完成させる		
				復習	児童虐待の実際についてまとめる		
	第 14 回	内容	小テスト、V T R（子どもの貧困）	予習	小テストに向けての学習		
				復習	小テストで出題された個所の確認		
	第 15 回	内容	小テスト返却、解説、まとめ	予習	V T R の感想文を書く		
				復習	子どもと家庭福祉とはなにかをまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	小テストの解説と返却、レポートの返却を行います						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 50%）、レポート・課題（ 40%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 10%）						
教科書	『新 保育ライブラリ 児童家庭福祉』（植木信一編著、北大路書房）						
参考文献	『最新保育資料集 2019』（ミネルヴァ書房）						
注意事項	普段から新聞・ニュースその他のメディアを通して児童家庭福祉の問題や課題について関心をもつこと。 教員が作成したプリントを整理するためのファイルを用意しておくこと						

科 目 名	社会福祉		単 位 数	2	実務経験	担当教員	し の は ら あ み 志濃原 亜美
ナンバリングコード	SWS12102		授業形態	講義	有・無		
授業の内容	この授業では、福祉専門職である保育士が学ぶべき社会福祉の基礎的な知識を習得することをねらいとする。子どもの福祉のみならず、現代社会のニーズに即したあらゆる人々のウェルビーイング（福祉）をいかに実現させるかという視点に立ち広い視野で社会福祉について学ぶ。						
到達目標	1. 保育と社会福祉の関係がわかる。 2. わが国の社会福祉の制度がわかる 3. 現代の社会問題がわかる						
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・3・4・⑤・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）		予習	シラバスを読んでおく	
					復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する	
	第2回	内容	保育と社会福祉（私たちが暮らす社会と保育をめぐる社会問題）		予習	社会問題、社会構造のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	社会問題、社会構造について理解をする。	
	第3回	内容	社会福祉の概念①（社会福祉の意味、定義）		予習	社会福祉の意味、定義のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	社会福祉意味や定義を理解する	
	第4回	内容	社会福祉の概念②（社会福祉の理念、社会福祉の構造等）		予習	社会福祉の理念、構造のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	社会福祉の理念等についての理解を深める	
	第5回	内容	社会保障の概念と体系（我が国における社会保障の概念）		予習	社会保障のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	社会保障の概念をしっかりと理解する	
	第6回	内容	社会保険①（社会保険制度の概要）		予習	社会保険制度のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	社会保険制度についての全体像を理解する	
	第7回	内容	社会保険②（医療保険、年金保険、介護保険、労働保険）		予習	社会保険のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	具体的な社会保険の種類や性格を理解する	
	第8回	内容	公的扶助①（公的扶助の概要、公的扶助と社会保険の違い）		予習	公的扶助のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	公的扶助の概要の理解及び前回の社会保険との違いを明確にする	
	第9回	内容	公的扶助②（生活保護の原理と原則、保護施設、その他の低所得者施策）		予習	公的扶助のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	公的扶助について具体的に理解する	
	第10回	内容	高齢者福祉	中間レポート	予習	高齢者福祉のプリントの穴埋めを完成させる 中間レポート提出準備	
					復習	高齢者福祉施策を理解する	
	第11回	内容	障がい者福祉		予習	障がい者福祉のプリントの穴埋めを完成させる	
					復習	障がい者福祉施策を理解する	
	第12回	内容	相談援助の意味と方法①（保育士に求められるソーシャルワーク、ソーシャルワークの意味と原則、）		予習	相談の意味と方法についての穴埋めプリントを完成させる	
					復習	相談援助を理解する	
	第13回	内容	相談援助の意味と方法②（ソーシャルワークの視点、ソーシャルワークに貢献した人）		予習	ソーシャルワークに関する穴埋めプリントを完成させる	
					復習	ソーシャルワークについて理解する	
	第14回	内容	小テスト、VTR（生活保護）、感想文		予習	小テストに向けての学習	
					復習	小テストで出題された個所の確認	
	第15回	内容	小テスト返却及びまとめ		予習	VTRの感想文を書く	
					復習	社会福祉とはなにかをまとめる	
	予習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	小テストの返却と解説、レポートの返却を行います						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（ 40%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ 10%）						
教科書	『保育と社会福祉 第2版』（橋本好市・宮田徹編集、(株)みらい）						
参考文献	『最新保育資料集2019』（ミネルヴァ書房）						
注意事項	普段から新聞・ニュースその他のメディアを通して児童家庭福祉の問題や課題について関心をもつこと。 教員が作成したプリントを整理するためのファイルを用意しておくこと						

科 目 名	社会福祉		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まんどう あきお 萬 燈 章 雄
ナンバリングコード	SWS12102		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	社会の変容とニーズの動向によって、全ての社会福祉制度は日々刻々と変化し続けている。福祉政策の方向性は国の政策の重要な部分を占めており、その変化はいかなる現場であっても業務に少なからず影響を与えている。このことを踏まえて、子ども家庭支援の分野を含め、基礎的な幅広い社会福祉の知識を学習していく。						
到 達 目 標	1. 今日までの社会福祉の変遷や社会福祉政策の動向を理解している。 2. 福祉の実践者として必要な、幅広い社会福祉の基礎知識を習得している。 3. 様々な福祉分野を知ることで福祉の実践者としての心構えを身につけている。 4. 社会福祉施策としての子ども家庭支援について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・⑤・6・7） 地域保育学科 ①・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内 容	オリエンテーション～ 「福祉」の持つ意味について学ぶ	予 習	福祉のつく言葉について調べる		
				復 習	福祉とは何かについてまとめてみる		
	第 2 回	内 容	社会福祉政策の歴史と経緯について学ぶ 主に戦後日本の社会福祉政策の変遷について	予 習	戦後から今までの日本の世相について調べる		
				復 習	社会福祉政策の変遷についてまとめてみる		
	第 3 回	内 容	社会福祉と経済との関係について学ぶ 経済学と救済施策、国の福祉施策との関係	予 習	産業革命について調べる		
				復 習	経済と福祉の関係についてまとめてみる		
	第 4 回	内 容	社会福祉の法体系について学ぶ 社会福祉法を基礎とした現在の法体系	予 習	社会福祉のジャンルについて調べてみる		
				復 習	法体系についてまとめてみる		
	第 5 回	内 容	少子高齢社会と児童家庭福祉の変遷 子ども家庭支援の捉え方の変遷について	予 習	戦災孤児について調べてみる		
				復 習	家庭と子どもの捉え方についてまとめる		
	第 6 回	内 容	公的扶助・社会保障制度 生活保護制度、医療保険制度について	予 習	自分の保険証の内容について調べる		
				復 習	生活保護制度、医療保険制度をまとめる		
	第 7 回	内 容	少子高齢社会と高齢者福祉 沿革 年金制度と介護保険制度について学ぶ	予 習	少子高齢社会について調べる		
				復 習	高齢者福祉についてまとめてみる		
	第 8 回	内 容	中間まとめ 理解度チェックとレポート提出 社会福祉の概念と全体のフレームについて	予 習	これまでの内容についてふりかえる		
				復 習	景気と施策の変遷についてまとめる		
	第 9 回	内 容	障害者福祉① 障害の概念について 障害者権利条約やノーマライゼーションの理念について	予 習	バンク・ミケルセンについて調べる		
				復 習	障害の捉え方と変遷についてまとめる		
	第 10 回	内 容	障害者福祉② 身体障害・知的障害・精神障害について	予 習	パラリンピックについて調べる		
				復 習	3障害の概要についてまとめてみる		
	第 11 回	内 容	社会福祉の援助技術について（概要） ソーシャルワーク・ケースワークなど	予 習	「相談」という言葉について調べる		
				復 習	技術概要についてまとめる		
	第 12 回	内 容	社会福祉と権利擁護 虐待や差別から対象者を守るために	予 習	国際連合の宣言と条約について調べる		
				復 習	権利擁護についてまとめてみる		
	第 13 回	内 容	子ども家庭支援について 地域で子どもの生活を支える活動について	予 習	子育て支援センターについて調べる		
				復 習	子ども子育て支援法についてまとめる		
	第 14 回	内 容	女性と社会施策としての福祉 世界的な人口問題、日本の少子化と社会進出、DV相談とその支援について	予 習	DVについて調べてみる		
				復 習	世界と日本の事情をそれぞれまとめる		
	第 15 回	内 容	総まとめと復習チェック レポート提出 これからの「社会福祉」について	予 習	これまでの内容についてふりかえる		
				復 習	これからの社会福祉についてまとめてみる		
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	評価方法としては、理解度チェックとレポート提出を実施します。提出物は原則コメントをつけて返却します。多く理解がなされていない部分があればその都度説明をしていきます。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（50％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（50％）						
教科書	なし						
参考文献	授業中に適宜お知らせします。						
注意事項	学習範囲が幅広く、理解が難しいところもあるかと思いますが、不明な点は遠慮なく質問してください。福祉全般に関心を持つとともに授業マナーを守り積極的な受講を期待します。						

科 目 名	保育者論		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子	
ナソバ・リンク・コート*	EDU12104		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	幼稚園教諭や保育士を目指す学生が実習前に最低限知っておくべき、幼稚園や保育所の役割や違い、また年齢による子どもたちの特徴や違いなどについて学ぶことを目的とする。また保育者を目指すにあたっての態度形成や、保育者が担っている役割の範囲や負っている限界、そしてその克服という問題について考えながら、自分なりの保育観や教育観を形成していくことを目的とする。							
到 達 目 標	1. 幼稚園と保育所の役割や違いについて理解している。 2. 3歳・4歳・5歳児についての特徴や違いを理解している。 3. 保育者という仕事に対して要求される態度等について理解している。 4. 「教師」という言葉につきまとう価値観について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（①・②・③・④・⑤・⑥・⑦）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション：履修上の注意や説明	予習	保育者を目指す目的について確認する。			
				復習	もう一度自分の資質を見つめ直してみる。			
	第2回	内容	幼稚園実習とは何かについて学ぶ	予習	実習に向けての心構えについてまとめる。			
				復習	自分の弱点についてまとめる。			
	第3回	内容	幼稚園と保育所の違いについて学ぶ	予習	幼稚園や保育所の違いについて調べる。			
				復習	調べた事項や授業の内容をまとめる。			
	第4回	内容	幼稚園教諭の役割と仕事について学ぶ	予習	幼稚園教諭の仕事について調べる。			
				復習	学んだ内容をまとめる。			
	第5回	内容	保育所の役割と仕事について学ぶ	予習	保育士の仕事について調べる。			
				復習	学んだ内容をまとめる。			
	第6回	内容	保育者という仕事の実態について学ぶ	予習	保育者の役割について調べる。			
				復習	学んだ内容をまとめる。			
	第7回	内容	日本の教職の特質について学ぶ	予習	「教師」についてのイメージについて調べる。			
				復習	学んだ内容をまとめる。			
	第8回	内容	3歳児の特徴について学ぶ	予習	3歳児の特徴をいろいろな面から調べる。			
				復習	理解した内容をまとめる。			
	第9回	内容	4歳児の特徴について学ぶ	予習	4歳児の特徴をいろいろな面から調べる。			
				復習	理解した内容をまとめる。			
	第10回	内容	5歳児の特徴について学ぶ	予習	5歳児の特徴をいろいろな面から調べる。			
				復習	理解した内容をまとめる。			
	第11回	内容	保育の安全について学ぶ	予習	保育上の安全について調べる。			
				復習	理解した内容をまとめる。			
	第12回	内容	保育の事故防止について学ぶ	予習	保育上の事故防止について調べる。			
				復習	理解した内容をまとめる。			
	第13回	内容	子どものしつけをめぐる問題を学ぶ	予習	しつけについて調べる。			
				復習	学んだ内容をまとめる。			
	第14回	内容	保育者や子どもをめぐる問題を学ぶ	予習	子どもに関する事件等について調べる。			
				復習	学んだ内容についてまとめる。			
	第15回	内容	まとめ	予習	学んだことや理解したことをまとめる。			
				復習	自分の見解を発展させる。			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業中に小レポートや課題を課すことによって、理解度を把握していく。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50％）、レポート・課題（25％）、授業態度（25％）						
教科書	『小学校教員の常識67』（村越 晃〔編〕、一藝社）							
参考文献	授業中に適宜、プリントを配布したり、紹介する。							
注意事項	主体的に興味関心をもっていろいろなことを調べ、積極的に授業に臨み、文章の読み書きに慣れてほしい。							

科 目 名	保育の心理学		単 位 数	2	実務経験	担当教員	おおくま み か こ 大熊 美佳子
ナンバリングコード	EDP12101	授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	子どもの心身の発達について、代表的な理論を踏まえ、発達の概念を理解し、具体的な発達や学習の過程に関する基礎知識を習得し、教育や保育、子育て支援に生かしていけるように、学びを深めていくことを目的とします。						
到 達 目 標	1. 保育に関わる心理学の基本用語を正確に理解している。 2. 子どもの発達や行動を理解するために必要な心理学的視点の基礎を身につけている 3. 子どもの主体的な活動を支えるための基礎となる考え方を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・3・4・⑤・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	発達とは何か （遺伝と環境）	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	発達に関わる遺伝と環境の考え方をまとめる		
	第2回	内容	発達の過程① （胎児期・新生児期）	予習	胎児期・新生児期の発達について調べる		
				復習	この時期の発達の特徴についてまとめる		
	第3回	内容	発達の過程② （乳児期・タドラー期）	予習	乳児期・タドラー期の発達について調べる		
				復習	この時期の発達の特徴についてまとめる		
	第4回	内容	発達の過程③ （幼児期）	予習	幼児期の発達について調べる		
				復習	この時期の発達の特徴についてまとめる		
	第5回	内容	発達の過程④ （児童期・思春期）	予習	児童期・思春期の発達について調べる		
				復習	この時期の発達の課題についてまとめる		
	第6回	内容	発達の過程⑤ （青年期・成人期・老年期）	予習	青年期から老年期までの発達について調べる		
				復習	生涯発達について理解したことをまとめる		
	第7回	内容	認知発達 （ピアジェ・ヴィゴツキーの認知発達理論）	予習	ピアジェ・ヴィゴツキーについて調べる		
				復習	認知発達を年齢ごとに整理する		
	第8回	内容	人間関係の発達 （アタッチメント理論と対人関係）	予習	アタッチメント理論について調べる		
				復習	人間関係の発達を年齢ごとに整理する		
	第9回	内容	感情・情動の発達	予習	感情・情動の発達について調べる		
				復習	感情・情動の発達を年齢ごとに整理する		
	第10回	内容	パーソナリティの発達 （フロイト・エリクソンの発達理論）	予習	フロイト・エリクソンについて調べる		
				復習	両者の理論を年齢ごとに整理する		
	第11回	内容	学習理論① （学習とは何か）	予習	心理学における学習の意味について調べる		
				復習	学習・条件づけについてまとめる		
	第12回	内容	学習理論② （社会的学習理論について）	予習	社会的学習理論とは何かについて調べる		
				復習	現場への応用の仕方について考える		
	第13回	内容	子どものやる気① （動機づけ理論について）	予習	子どものやる気について考える		
				復習	動機づけ理論についてまとめる		
	第14回	内容	子どものやる気② （褒めること・叱ること）	予習	子どもの褒め方・叱り方について考える		
				復習	よりよい褒め方・叱り方をまとめる		
	第15回	内容	子どもの個性を理解する	予習	個性とは何かを考える		
				復習	保育現場で必要な心理学的視点をまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内で小テストを実施し、テスト後、解説を行います。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、授業態度（20%）						
教科書	特になし						
参考文献	講義の中で適宜紹介します						
注意事項							

科 目 名	子ども家庭支援の心理学		単 位 数	2	実務経験	担当教員	みよし ちから 三好 力	
ナソバ・リンク・コート	EDP12102		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	生涯発達心理学をベースにして、保育士が必要とする人間の各成長段階における発達課題や発達障害、社会状況に基づく家庭支援の在り方などを学んでいく。							
到 達 目 標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎的知識を習得し初期経験の重要性、発達課題について理解している。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得している。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解している。 4. 子どもの精神保健とその課題について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・3・4・⑤・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	発達心理学の概要をつかむ	予習	教科書の相当箇所を事前に読むこと			
				復習				
	第 2 回	内容	生涯発達とは何か	予習	教科書の生涯発達の箇所を事前に読むこと			
				復習	ライフサイクルとライフコースを整理する			
	第 3 回	内容	主要な発達理論の紹介	予習	教科書の発達理論の箇所を事前に読むこと			
				復習	発達理論について整理してまとめる			
	第 4 回	内容	乳幼児期の発達	予習	教科書の幼児期の箇所を事前に読むこと			
				復習	未就学児の特徴をまとめる			
	第 5 回	内容	学童期前期にかけての発達	予習	教科書の学童期の箇所を事前に読むこと			
				復習	学童期の子どもの特徴をまとめる			
	第 6 回	内容	学童期後期から青年期にかけての発達	予習	教科書の青年期の箇所を事前に読むこと			
				復習	青年期の特徴をまとめる			
	第 7 回	内容	小テスト（1～6） 青年期の精神世界を見る	予習	1～6 回目の復習。			
				復習	テストの間違ったところを再学習する			
	第 8 回	内容	成人期における発達	予習	教科書の成人期の箇所を事前に読むこと			
				復習	成人期の特徴をまとめる			
	第 9 回	内容	老年期における発達	予習	教科書の老年期の箇所を事前に読むこと			
				復習	老年期の特徴をまとめる			
	第 10 回	内容	子育てを取り巻く社会的状況	予習	教科書の子育て環境の箇所を事前に読むこと			
				復習	現代の子育て環境について考える			
	第 11 回	内容	家族・家庭の意義、機能と親子関係・家族関係の理解	予習	教科書の家族の箇所を事前に読むこと			
				復習	家族機能について考える			
	第 12 回	内容	子育ての経験と親としての育ち、ライフコースと仕事・子育て	予習	教科書の子育ての箇所を事前に読むこと			
				復習	親の成長を考える			
	第 13 回	内容	多様な家庭形態とその理解 特別な配慮を要する家庭	予習	教科書の多様な家庭の箇所を事前に読むこと			
				復習	多様性について考える			
	第 14 回	内容	子どもの精神保健	予習	教科書の精神保健の箇所を事前に読むこと			
				復習	子どもの精神保健について整理する			
	第 15 回	内容	小テスト（7～14） 振り返り	予習	7～11 回目の復習。テスト勉強をする			
				復習	テストの間違ったところを再学習する			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	小テストの後に、答え合わせと解説を行う。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（30%）、授業態度（10%）						
教科書	『子ども家庭支援の心理学』（青木喜久代編、みらい）							
参考文献								
注意事項								

科 目 名	子どもの保健		単 位 数	2	実務経験	担当教員	とりうみ ひろこ 鳥海 弘子	
ナソバ・リンク・コート*	AHS12101		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	子どもの心身の健康、身体発育・発達を理解する。子どもの病気と対応、感染予防、慢性疾患、病児保育、母子保健、虐待、他職種との連携など組織としての健康支援を学び、保育者として必要な基礎知識を習得する。 様々なケースを DVD・動画・写真・スライドなどで紹介する。							
到 達 目 標	1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解している。 2. 子どもの身体発育・発達と保健について理解している。 3. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解している。 4. 子どもの疾病とその予防及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科 (1・②・3・④・⑤・⑥・7)							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 子どもの健康と保健	予習	教科書 P1～27 を読む			
				復習	今後の授業の進め方を確認し、自分自身の学習計画を立てる			
	第 2 回	内容	子どもの発育と保健① 子どもの身体発育と運動機能の発達	予習	教科書 P28～41 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 3 回	内容	子どもの発育と保健② 生理機能の発達と生活習慣	予習	教科書 P42～49 を読む			
				復習	次回、小テスト 1～3 回の内容を再確認し理解を深める			
	第 4 回	内容	地域における保健活動と子どもの虐待防止 小テスト (1～3 回の内容 15 分間)	予習	虐待についての新聞記事等を 1 事例をレポートし提出 (500 字以内)			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 5 回	内容	子どもの健康状態の観察と 体調不良時の把握	予習	教科書 P60～64 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 6 回	内容	子どもの病気① 子どもの免疫の発達と感染症の特徴	予習	教科書 P65～73 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 7 回	内容	子どもの病気② 感染症の予防及び適切な対応	予習	教科書 P74～80 を読む			
				復習	次回、小テスト 5～7 回の内容を再確認し理解を深める			
	第 8 回	内容	子どもの病気③ 救急疾患の特徴と適切な対応 小テスト (5～7 回の内容 15 分間)	予習	教科書 P81～90 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 9 回	内容	子どもの病気④ 新生児の病気、先天性の病気の特徴と対応	予習	教科書 P91～97 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 10 回	内容	子どもの病気⑤ アレルギー疾患の特徴と適切な対応	予習	教科書 P98～105 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 11 回	内容	子どもの病気⑥ 慢性疾患の特徴と適切な対応	予習	教科書 P106～118 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 12 回	内容	保護者との情報共有と家族の支援 小テスト (8～11 回の内容 15 分間)	予習	次回、小テスト 8～11 回の内容を再度確認し理解を深める			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第 13 回	内容	子どもの健康診断と関連機関との連携	予習	教科書 P129～136 を読む			
				復習	授業の学びを振り返る			
	第 14 回	内容	子どもの保健 試験 第 1 回～13 授業内容	予習	1～13 回の授業内容を再確認し理解を深める			
				復習	試験問題を持ち帰り自己採点と評価			
	第 15 回	内容	子どもの保健 総理解	予習	「保育者としての子どもの保健とは」を考察する (800 字) 提出			
				復習	子どもの保健を総合的に理解する			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する／() しない 成績評価の方法： 筆記試験 (60%)、小テスト (10%)、レポート・課題・ノート (20%)、授業態度 (10%)						
教科書	『授業で現場で役に立つ！ 子どもの保健テキスト』小林美由紀 診断と治療社							
参考文献	『乳幼児 教育・保育シリーズ 子どもの保健』岩田 力 光生館 『保育所保育指針平成 29 年告示』厚生労働省 フレーベル館							
注意事項	配布プリントは 1 冊にファイリングする。(毎回の授業に持参すること)							

科 目 名	子どもの食と栄養		単 位 数	2	実務経験	担当教員	ひらやま もとこ 平山 素子
ナソパリンクコート	EAH12101		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	子どもを取り巻く食環境を把握し、胎児期から学齢期の発育発達と栄養・食事との関係を理解する。子ども一人ひとりの心理状態や食事の摂取状況を観察し、適切な食事の提供と介助、さらには食生活のあり方について援助できる力を身につけることを目的とする。						
到 達 目 標	1. 子どもの発育・発達と食生活・栄養について理解している 2. 月年齢に見合った適切な食事提供と介助を行う力を身につけている 3. 自分自身の望ましい食生活の構築に取り組んでいる						
学位授与方針	幼児教育学科（1・②③・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、調理室の使い方	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	子どもの発育・発達と栄養	予習	発育と発達の違いを調べる		
				復習	発育発達と栄養の関わりについてまとめる		
	第3回	内容	授乳期の栄養① 母乳栄養	予習	母乳栄養について調べる		
				復習	母乳栄養の利点と注意点をまとめる		
	第4回	内容	授乳期の栄養② 人工栄養	予習	人工栄養について調べる		
				復習	人工栄養の利点と注意点についてまとめる		
	第5回	内容	調理実習・・・授乳期①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく		
				復習	調理手順を理解する		
	第6回	内容	調理実習・・・授乳期②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく		
				復習	人工栄養と母乳についてレポートを作成する		
	第7回	内容	離乳の必要性について	予習	どうして離乳が必要なのかを考える		
				復習	離乳食導入方法とサポート方法をまとめる		
	第8回	内容	離乳期の栄養①（5,6 か月頃）	予習	教科書の「5,6 か月頃の離乳食」部分を読む		
				復習	「5,6 か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第9回	内容	離乳期の栄養②（7,8 か月頃）	予習	教科書の「7,8 か月頃の離乳食」部分を読む		
				復習	「7,8 か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第10回	内容	食物アレルギーについて	予習	食物アレルギーの原因となる食物を調べる		
				復習	事故防止、サポート方法をまとめる		
	第11回	内容	調理実習・・・離乳期①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく		
				復習	調理手順を理解する		
	第12回	内容	調理実習・・・離乳期②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく		
				復習	離乳食(5,6/7,8 か月)についてレポート作成		
	第13回	内容	離乳期の栄養③（9~11 か月頃）	予習	教科書の「9~11 か月頃の離乳食」を読む		
				復習	「9~11 か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第14回	内容	離乳期の栄養④（12~18 か月頃）	予習	教科書の「12~18 か月頃の離乳食」を読む		
				復習	「12~18 か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第15回	内容	調理実習・・・離乳期③（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく		
				復習	調理手順を理解する		
	第16回	内容	調理実習・・・離乳期④（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく		
				復習	離乳食(9~11/12~18 か月)のレポート作成		
	第17回	内容	保育現場における食事を考える	予習	保育現場で食事等を提供する機会を考える		
				復習	食事等の提供時の課題と解決法をまとめる		
	第18回	内容	幼児期の栄養①成長と食事・栄養について	予習	幼児期の食事について具体的に考えてみる		
				復習	幼児期の食事の特徴をまとめる		
	第19回	内容	幼児期の栄養②保育士・保護者の悩みを通して考える	予習	幼児期の食の問題について調べる		
				復習	幼児期の食の課題と解決方法をまとめる		
	第20回	内容	児童福祉施設の食事と栄養	予習	教科書の「児童福祉施設の食事」を読む		
				復習	児童福祉施設毎の食の特徴をまとめる		

授 業 計 画	第 21 回	内容	調理実習・・・幼児食（弁当）①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく
				復習	調理手順を理解する
	第 22 回	内容	調理実習・・・幼児食（弁当）②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく
				復習	幼児食、お弁当についてレポートを作成する
	第 23 回	内容	障がい児の食事と栄養	予習	教科書の「障害のある子どもの食事」を読む
				復習	障がいのある子どもの食の課題をまとめる
	第 24 回	内容	体調不良時の食事と栄養	予習	子どもの体調不良について調べる
				復習	体調に合わせた食事の摂り方をまとめる
	第 25 回	内容	調理実習・・・幼児食（行事食）①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく
				復習	調理手順を理解する
	第 26 回	内容	調理実習・・・幼児食（行事食）②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく
				復習	行事と調理保育についてレポートを作成する
	第 27 回	内容	学童期の食事と栄養	予習	幼保卒園後の食の問題について考える
				復習	学童期の食とサポート方法をまとめる
	第 28 回	内容	妊娠・授乳期の食事と栄養	予習	妊娠・授乳期に生じる食の問題を考える
				復習	妊娠・授乳期の食とサポート方法をまとめる
	第 29 回	内容	食事のマナー・箸の使い方等について	予習	幼児期に習得すべきマナーについて調べる
				復習	箸使いの習得方法とサポート方法をまとめる
	第 30 回	内容	食べることの意義と栄養・食品の知識	予習	子どもの食で大切なことは何かを考える
				復習	自分の食生活を振り返り、改善方法をまとめる
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60％）、授業態度（40％）				
教科書	『改訂 子どもの食と栄養』（岡崎光子 編、光生館）				
参考文献	『新版 子どもの食生活-栄養・食育・保育-』（上田玲子 編、ななみ書房）				
注意事項	授業を通して、自分自身の望ましい食生活の構築にも取り組んで欲しい。				

科 目 名	保育・教育課程論		単 位 数	1	実務経験	担当教員	まつなが しずこ 松永 静子
ナンバリングコード	EDU12201		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	・ 幼稚園教育要領及び保育所保育指針 及び幼保連携型認定こども園教育保育要領に基づき保育・教育課程の基本的な知識として理解を深める。 保育・教育課程、保育計画の意義及び編成の方法について知る。幼稚園や保育所(園)の保育内容など の保育の基本を理解した上で、保育実践における指導日案、細案などの立案の仕方を身につける。						
到 達 目 標	1. 教育・保育課程の全体の計画、指導計画の意義について学び、教育課程・保育課程の編成及び指導計画の作成について目的などを理解する。 2. 保育の基本及び子どもの発達の過程・特徴について理解し、指導計画の作成を通して作成のポイント、方法について理解する。 3. 実際の保育方法や保育の形態と内容、保育記録・評価反省・改善の意義・目的について理解する。						
学位授与方針	幼児教育学科 (1・2・3・4・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)						
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育課程とは オリエンテーション	予習	幼稚園教育要領 保育所保育指針を読む		
				復習	配布のレジュメをもとにポイントを確認する		
	第 2 回	内容	保育所保育指針と幼稚園教育要領・認定こども園教育・保育要領について	予習	要領・指針を読む		
				復習	共通している内容と違いを確認する。		
	第 3 回	内容	保育所保育指針と保育課程	予習	保育所保育指針総則を読む		
				復習	保育課程とは、ポイントを復習しておく		
	第 4 回	内容	幼稚園教育要領と教育課程	予習	幼稚園教育要領を読んでおく。		
				復習	教育課程のポイントを復習しておく		
	第 5 回	内容	認定こども園教育・保育要領と教育・保育課程	予習	認定こども園教育保育要領を読む		
				復習	教育・保育課程のポイントを復習しておく		
	第 6 回	内容	教育・保育課程の編成方法と編成のポイント（発達過程の理解を確認し編成について学ぶ）	予習	子どもの発達を予習しておく		
				復習	編成のポイントを復習しておく		
	第 7 回	内容	教育・保育課程の編成方法と編成のポイントその2（保育内容領域を理解し総合的な実践について学ぶ）	予習	保育内容5領域を読んでおく		
				復習	編成のポイントを復習しておく		
	第 8 回	内容	教育・保育課程から保育指導計画、作成とそのポイント	予習	指導計画の参考書を読む		
				復習	作成のポイントを復習する		
	第 9 回	内容	教育・保育課程から保育指導計画、作成とそのポイント	予習	指導計画の事例を調べておく。		
				復習	作成のポイントを復習する		
	第 10 回	内容	実習に向けて指導計画の立案・作成	予習	主活動をきめる		
				復習	指導案の原案を書いてみる		
	第 11 回	内容	実習に向けて指導計画の立案・作成（提出）	予習	考えた活動で指導案の流れを考えておく		
				復習	指導案を完成させる（提出）		
	第 12 回	内容	計画と評価（PDCA サイクル） 保育実践の省察と評価（記録の方法）	予習	保育評価について調べる		
				復習	省察と評価のポイントを復習する		
	第 13 回	内容	多様な指導計画の実例（3歳未満児・個別の指導計画）	予習	多様な計画について調べておく		
				復習	それぞれの特徴を復習する		
	第 14 回	内容	保育指導計画の実例（小学校との接続カリキュラム他）	予習	幼小連携とは 調べておく。		
				復習	説測期カリキュラムを復習する。		
	第 15 回	内容	授業のまとめ	予習	全体を復習する		
				復習	全体を復習する		
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 時 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	保育計画の立案を学ぶため 予習を行い、準備をして授業に臨む。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない ただし授業内レポート実施、指導案提出により評価する。 成績評価の方法： 筆記試験（（レポート）50%）、ミニレポート・課題・指導案（40%）、授業態度・リアクションペーパー（10%）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名）						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）授業内で紹介する。						
注意事項							

科 目 名	乳 児 保 育 I		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつなが しずこ 松 永 静子
ナソバ・リンク・コート*	CHS12101		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	乳児の発達を理解し、人としてひとり立ちできる過程を学ぶ。 乳児が家庭と保育園を24時間行き来している生活をとらえ、保育者としてどのような援助やかかわりが必要であるかを考え、乳児の保育を学ぶ。 乳児が主体的に遊び、生活する保育とはどういうことであるのか、その意味を考え学ぶ。						
到 達 目 標	1. 乳児の育つみちすじを理解し、保育としてのかかわりや援助の具体的な方法・内容を理解する。 2. 乳児が主体的に遊び生活する意味を考え、保育ではどのようなことを大切にするかを理解する。 3. 乳児の育ちを保育者と保護者が連携して支えていくためにどのような保護者へのはたらきかけはあるかを理解する。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	授業ガイダンス 乳児保育とは？ 乳児保育の変遷	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	今日のまとめをする		
	第2回	内容	家庭での乳児の生活を知る・子育て支援の 現状と課題	予習	自分を育てた養育者に聞いてみる		
				復習	子育て支援に関する記事を探してみる。		
	第3回	内容	乳児保育の様々な場と保育園の一日を知 る	予習	地域にある乳児保育の施設を探してみる		
				復習	今日のまとめをする		
	第4回	内容	発達と保育 0歳児前半の発達の特徴	予習	発達段階を調べておく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第5回	内容	発達と保育 0歳児前半の生活と遊び1	予習	生活の援助の実践を調べていく。		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第6回	内容	発達と保育 0歳児前半の生活と遊び2	予習	遊びの実践を調べておく。		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第7回	内容	発達と保育 0歳児後半の発達の特徴	予習	発達段階を調べる		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第8回	内容	発達と保育 0歳児後半の生活と遊び1	予習	生活の援助を調べておく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第9回	内容	発達と保育 0歳児後半の生活と遊び2	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめておく		
	第10回	内容	0歳児の復習・ミニテスト	予習	0歳児前半後半で学んだことを振り返る。		
				復習	テストでできなかったことを復習する。		
	第11回	内容	発達と保育 1歳児前半の発達の特徴	予習	発達段階を調べる		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第12回	内容	発達と保育 1歳児後半の生活と遊び1	予習	生活の援助を調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第13回	内容	発達と保育 1歳児後半の生活と遊び2	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第14回	内容	発達と保育 1歳児後半の生活と遊び3	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第15回	内容	1歳児の復習・ミニテスト	予習	1歳児前半後半で学んだことを振り返る		
				復習	テストでできなかったことを復習する		
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフ ィードバッ ク	毎回リアクションペーパーの学びの振り返りに適時コメントをする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない ※授業内で適時試験をする。 成績評価の方法： 筆記試験（ 50 %）、レポート・課題（ 20 %）、作品・発表（10 %）、実技（ %）、授業態度（10 %）						
教科書	初回配布するテキストを使用する						
参考文献	『012歳児担任のお仕事まるわかり 新保育指针对応』 学陽書房 2018 汐見稔幸・松永静子編著						

科 目 名	乳 児 保 育Ⅰ	単 位 数	2	実務経験	担当教員	おかもと よしこ 岡 本 良 子
ナソバ`リンク`コート`	CHS12101	授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	子育て家庭への支援としての乳児保育の役割と保育の実践とを結びつけて理解できることを目的とする。授業では、まず乳児保育の定義と意義、歴史、現状と課題、多様な乳児保育の実施場所について理解し、次に乳児期の成長発達と保育について基礎的知識を習得する。さらに連携の必要性について学ぶ。					
到 達 目 標	1.乳児保育の意義や役割、歴史的変遷について説明できる。 2.現在の子育て社会の問題を通して乳児保育の必要性を理解している。 3.乳児期の子どもの成長発達を理解し保育内容を説明できる。 4.保護者や関係機関との連携について説明できる。					
学位授与方針	幼児教育学科（①・②・3・4・⑤・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 乳児保育の意義	予習	シラバスに目を通しておく	
				復習	乳児保育の役割と機能を理解する	
	第 2 回	内容	乳児保育の歴史的変遷	予習	乳児保育の歴史を知る必要性を考える	
				復習	社会の動きと乳児保育のあり方を関連づける	
	第 3 回	内容	乳児保育の現状と課題	予習	乳幼児の育ち子育てで気になることを考える	
				復習	現在の乳児保育の必要性についてまとめる	
	第 4 回	内容	乳児保育が行われる場	予習	家庭以外に乳児が保育される場を調べる	
				復習	多様な乳児保育の実施場所の特徴を整理する	
	第 5 回	内容	乳児期の特徴と保育の基本	予習	乳児とはどんな存在なのか考える	
				復習	乳児期の特徴を踏まえた保育をまとめる	
	第 6 回	内容	0～4ヶ月児の発達と保育① 形態的成長・機能的発達・精神的発達	予習	新生児とはどんな存在か考える	
				復習	新生児の反射を整理する	
	第 7 回	内容	0～4ヶ月児の発達と保育② 保育の内容	予習	0歳前半の乳児への関わりを考える	
				復習	乳児の抱っこのポイントをまとめる	
	第 8 回	内容	5～12ヶ月児の発達と保育① 形態的成長・機能的発達と保育の内容	予習	寝返りできるとはどういうことか考える	
				復習	運動機能の発達についてレポートにまとめる	
	第 9 回	内容	5～12ヶ月児の発達と保育② 精神的発達と保育の内容	予習	人見知りとはどんな意味を持つか考える	
				復習	精神的発達について整理する	
	第 10 回	内容	1歳児の発達と保育① 形態的成長・機能的発達と保育の内容	予習	歩けるとは何を意味するのか考える	
				復習	運動機能の発達について整理する	
	第 11 回	内容	1歳児の保育と保育② 精神的発達と保育の内容	予習	言葉を話すことの意味を考える	
				復習	精神的発達についてレポートにまとめる	
	第 12 回	内容	2歳児以上の発達と保育① 形態的成長・機能的発達と保育の内容	予習	運動機能の発達を調べる	
				復習	運動機能の発達と保育について整理する	
	第 13 回	内容	2歳児以上の発達と保育② 精神的発達と保育の内容	予習	自我の芽生えと自己主張について調べる	
				復習	精神的発達について整理する	
	第 14 回	内容	様々な連携と乳児保育	予習	自身の育ちでの人との関わりの存在を考える	
				復習	連携の必要性を理解する	
	第 15 回	内容	まとめ	予習	今まで習ったことを振り返る	
				復習	前期テストに向けて知識を整理する	
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	講義時に口頭でコメントする レポートにコメントする					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50％）、レポート・課題（20％）、授業態度（30％）					
教科書	なし プリントを配布する。					
参考文献	『乳児保育 基本保育シリーズ⑩』 寺田清美・大方美香・塩谷 香 編集 中央法規出版 『コンパクト版 保育者養成シリーズ 新版 乳児保育』高橋弥生・石橋優子 編著 一藝社					
注意事項	授業中の私語、携帯電話等の使用、飲食、化粧等講義に支障となる行為は禁止する。					

科 目 名	乳 児 保 育Ⅱ		単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつなが しずこ 松永 静子
ナソバ [*] リンク [*] コート [*]	CHS12201		授業形態	講義	有・無		
授 業 の 内 容	乳児の発達を理解し、人としてひとり立ちできる過程を学ぶ。乳児が家庭と保育園を24時間行き来している生活をとらえ、保育者としてどのような援助やかかわりが必要であるかを考え、乳児の保育を学ぶ。乳児が主体的に遊び、生活する保育とはどういうことであるのか、その意味を考え学ぶ。						
到 達 目 標	1. 乳児の育つみちすじを理解し、保育としてのかかわりや援助の具体的な方法・内容を理解する。 2. 乳児が主体的に遊び生活する意味を考え、保育ではどのようなことを大切にするかを理解する。 3. 乳児の育ちを保育者と保護者が連携して支えていくためにどのような保護者へのはたらきかけはあるかを理解する。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	発達と保育 2歳児の発達の特徴	予習	発達段階を調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第2回	内容	発達と保育 2歳児の生活と遊び1	予習	生活の援助について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第3回	内容	発達と保育 2歳児の生活と遊び2	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第4回	内容	発達と保育 2歳児の生活と遊び3	予習	遊びの実践について調べておく		
				復習	自分ノートにまとめる		
	第5回	内容	2歳児の復習・ミニテスト	予習	②歳前半後半の学びを振り返る		
				復習	テストでできなかったところを復讐する		
	第6回	内容	対人関係の発達（言葉の発達）と保育内容	予習	保育内容言葉での学びを復讐しておく		
				復習	保育内容言葉の学びを重ねてまとめる		
	第7回	内容	乳児と絵本・環境づくり	予習	乳児の絵本を調べておく		
				復習	さらに絵本を読んでおく。		
	第8回	内容	身体機能の発達（運動・手指の発達）と保育内容	予習	子どもの保健の身体機能の発達を確認する		
				復習	手指の発達と遊びをまとめておく		
	第9回	内容	乳児と玩具・玩具づくり（提出）	予習	手作り玩具の案をかんがえておく		
				復習	自宅で作成する。		
	第10回	内容	一年間のまとめ・授業内レポート	予習	1年間の学びを振り返る。		
				復習	改めて学びの課題を考える		
	第11回	内容	乳児保育と衛生管理・病後児保育	予習	子どもの保健で予習しておく		
				復習	乳児の病気と本日の学びをまとめる		
	第12回	内容	乳児保育と安全・事故防止	予習	子どもの保健で予習しておく		
				復習	乳児の特徴に応じた学びをまとめる		
	第13回	内容	乳児保育と連携・保護者支援	予習	子育て支援について新聞などで調べておく		
				復習	他職種・職員間・保護者との連携をまとめる		
	第14回	内容	乳児保育と記録・評価	予習	幼稚園実習の記録を読んでくる。		
				復習	実践記録で大切なのは何かまとめる		
	第15回	内容	乳児保育の実際（現場の方から）	予習	実習にいく園のHPを読んでくる		
				復習	理論と実践と違いに気づく。		
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフ ィードバッ ク	毎回リアクションペーパーの学びの振り返りに適時コメントをする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない ※二部の学生の手作り玩具について は授業時に説明する 成績評価の方法： 筆記試験（ 50 %）、レポート・課題（20 %）、作品・発表（ 20 %）、実技（ %）、授業態度（ 10 %）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名 初回配布するテキストを使用する						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）『012歳児担任のお仕事まるわかり 新保育指针对応』 学陽書房 2018 汐見稔幸・松永静子編著						

科 目 名	乳児保育Ⅱ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	はぎわら やすこ 萩原 康子
ナシバ・リンク・コード	CHS12201	授業形態	演習	有・無			
授 業 の 内 容	乳児保育Ⅰの学習をもとに、愛着関係の必要性を理解し、３歳未満児の発育・発達の特徴や、生活・遊びの実際と援助、配慮について学ぶ。ビデオ視聴や保育現場での事例、演習を通してグループワーク等で理解を深め、乳児保育に必要な知識と技術を身につける。指導計画の作成について具体的に学ぶ。						
到 達 目 標	１．３歳未満児の発育・発達のプロセスや特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方を理解している。 ２．３歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境構成について具体的方法を身につけている。 ３．乳児保育における配慮について、具体的に説明できる。 ４．乳児保育における計画の作成について、具体的に理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科 ①②③④⑤⑥⑦ 地域保育学科（１・２・３・４・５）文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第１回	内容	ガイダンス 乳児保育の基本① 子どもと保育士等との関係の重要性	予習	シラバス、教科書P7～14の通読		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第２回	内容	乳児保育の基本② 個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的関わり	予習	教科書P153～194の通読		
				復習	演習グループのチームワークを理解する		
	第３回	内容	乳児保育の基本③ 子どもの主体性の尊重と自己の育ち	予習	教科書P101～126の通読		
				復習	養護のねらいについて理解する		
	第４回	内容	乳児保育の基本④ 子どもの体験と学びの芽生え	予習	教科書P15～28の通読		
				復習	乳児保育の基本についてレポートを提出する		
	第５回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際①【演習】 子どもの一日の生活の流れと保育の環境	予習	教科書P29～50の通読		
				復習	一日の流れで考えることの意味を理解する		
	第６回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際②【演習】 子どもの生活や遊びを支える環境の構成	予習	教科書P51～58の通読		
				復習	演習を通して体験したことを振り返る		
	第７回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際③【演習】 ３歳未満児の発育・発達を踏まえた遊び	予習	教科書P60～68の通読		
				復習	演習を通して体験したことを振り返る		
	第８回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際④【演習】 ３歳未満児の発育・発達を踏まえた生活	予習	教科書P127～152の通読		
				復習	演習を通して体験したことを振り返る		
	第９回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際⑤【演習】 子ども同士の関わりと援助	予習	教科書P51～78の通読		
				復習	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びについてレポートを提供する		
	第10回	内容	乳児保育における配慮の実際①【演習】 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	予習	教科書P69～78の通読		
				復習	演習を通して体験したことを振り返る		
	第11回	内容	乳児保育における配慮の実際②【演習】 集団での生活における配慮	予習	教科書P60～78の通読		
				復習	演習を通して体験したことを振り返る		
	第12回	内容	乳児保育における配慮の実際③ 環境の変化や移行に関する配慮	予習	教科書P51～78の通読		
				復習	乳児保育における配慮についてレポートを提供する		
	第13回	内容	乳児保育における計画の実際① 長期的な指導計画と短期的な指導計画	予習	教科書P87～94の通読		
				復習	指導計画の意味・必要性を理解する		
	第14回	内容	乳児保育における計画の実際② 個別的な指導計画と短期的な指導計画	予習	教科書P79～86の通読		
				復習	乳児保育における計画についてレポートを提供する		
	第15回	内容	まとめ 乳児保育の総合理解	予習	年間配布資料、教科書P95～100の通読		
				復習	乳児保育の重要性を理解する		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作成したレポートについては全体に説明を行う 定期試験後に解答を示し解説を行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60％）、レポート・課題（10％）、実技（20％）、授業態度（10％）						
教科書	『乳児の生活と保育 第3版 松本園子』ななみ書房						
参考文献	『幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（チャイルド社） 『教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画』萌文書林 『乳児の保育新時代』ひとなる書房						
注意事項	リアクションペーパーには、毎回学んだことや感想等を書いて提出すること。 配布資料（プリント）はファイリングし、毎回の授業に持参すること。						

科 目 名	造形表現（指導法）		単 位 数	1	実務経験	担当教員	おぐち 小口	すぐる 偉	
ナソパ・リンク・コート*	CHS12208		授業形態	演習	有・無				
授 業 の 内 容	乳幼児期の造形的表現方法は、発達段階を踏まえ、適切な素材提供をすることが、活動に広がりとお興行きをもたらす。子どもの活動をもとにした活動体験をすることから、「素材、道具について」の造形的側面と、「乳幼児の表現活動について」の心身の発達における側面から、造形を通じた表現について理解、関心を深める。								
到 達 目 標	1. 子どもたちの表現活動の意義を理解している。 2. 年齢やクラス編成ごとに変化する活動内容に応じた環境づくりができる。 3. 子どもたちと活動が楽しめる技術、視点、方法を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（1・②③④・5・6・⑦） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）								
授 業 計 画	第 1 回	内 容	素材体験 1 紙について 質感で遊ぶ	予習	参考書等の紙の活動に関することを読み込む				
				復習	身近な紙の触り心地を確かめておく				
	第 2 回	内 容	素材体験 2 グループワーク 紙について 2 空間を使って遊ぶ	予習	遊ぶこととは何かノートに書き出し持参する。				
				復習	体験を通して空間を使って遊ぶこととは何か自分なりに考え、まとめる。				
	第 3 回	内 容	素材体験 3 クレヨン、パスについて	予習	参考書等のクレヨン、パスに関する項目を読み込む。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 4 回	内 容	素材体験 4 グループワーク 粘土について	予習	参考書等の粘土に関する記述について読む。				
				復習	体験内容をノートにまとめる。				
	第 5 回	内 容	道具体験 1 ハサミについて	予習	参考書等のハサミに関する記述について、ノートにまとめ持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 6 回	内 容	道具体験 2 ステープラーについて	予習	参考書等のステープラーに関する記述について、ノートにまとめ持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 7 回	内 容	接着について	予習	参考書等の接着に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 8 回	内 容	応用 1 構成遊びについて 1 色画用紙での構成遊び	予習	構成遊びについて調べる。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 9 回	内 容	応用 2 構成遊びについて 2 与えられたきっかけから画面構成 1	予習	構成遊びについて調べる。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 10 回	内 容	応用 3 構成遊びについて 3 与えられたきっかけから画面構成 2 発表	予習	構成遊びについて調べ、まとめたノートを持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 11 回	内 容	応用 4 様々な技法遊び デカルコマニー/スクラッチ	予習	技法遊びについて5つの種類とその方法を調べ、まとめたものを持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 12 回	内 容	立体の扱いについて「紙立体」 合同制作 と共同制作を体験する	予習	参考書の紙立体に関する記述について、ノートにまとめ持参する。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 13 回	内 容	生活素材を使って制作体験	予習	造形素材として使用できる可能性のあるものを集めておく。				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 14 回	内 容	工作 1 動かして遊ぶ「紙工作」	予習	参考書の紙工作に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	第 15 回	内 容	振り返り ドキュメンテーション作成	予習	ドキュメンテーションについて調べ、まとめたノートを持参する。(60 分)				
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
	予習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	各提出課題に対し採点をする。返却の際に保育現場での指導、実践方法や注意点などをその都度伝える							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（2 0 %）、作品・発表（4 0 %）、実技（ %）、授業態度（4 0 %）							
教科書	『保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領』平成 29 年 3 月 31 日告示								
参考文献	『楽しい造形表現』（子ども造形表現研究会、圭文社）『保育園・幼稚園の造形あそび』（鮫島良一,馬場千晶、成美堂出版)								
注意事項	出来映えは重視しません。誠実に、積極的に取り組むこと。 ※ 作品制作に関わる道具、材料費は個人負担です。(1600 円)。								

科 目 名	健 康		単 位 数	1	実務経験	担当教員	ひらやまもとこ きたほらせいいち しんどのぶゆき 平山素子・北洞誠一・新戸信之	
ナンバリングコード	CHS12102		授業形態	演習	有・無			
授 業 の 内 容	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基礎となる知識、技能を身に付ける。具体的には、幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達等において、幼児期には大人と異なった特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。							
到 達 目 標	1. 幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解し、説明できる 2. 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解し、説明できる 3. 安全な生活と怪我の特徴や病気の予防を理解し、説明できる 4. 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解し、説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・3・④・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）							
授 業 計 画	第1回	内容	健康の定義と乳幼児期の健康の意義について	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	乳幼児期の健康の意義についてまとめる			
	第2回	内容	乳幼児期の健康課題について	予習	乳幼児期にはどんな健康課題があるか考える			
				復習	乳幼児期の健康課題とサポート方法を考える			
	第3回	内容	乳幼児期の運動発達について	予習	乳幼児期の運動発達について調べる			
				復習	乳幼児期の運動発達についてまとめる			
	第4回	内容	乳幼児の体の発達の特徴について	予習	乳幼児の体はどのように発達するのか考える			
				復習	乳幼児の身体的発達の特徴についてまとめる			
	第5回	内容	基本的生活習慣の形成とその意義について	予習	基本的生活習慣とは何か調べる			
				復習	基本的生活習慣形成の意義をまとめる			
	第6回	内容	基本的生活習慣の形成のための援助について	予習	基本的生活習慣の形成に必要な事項を考える			
				復習	基本的生活習慣形成の援助方法をまとめる			
	第7回	内容	乳幼児期の危険と安全教育について	予習	乳幼児期にはどのような危険があるか考える			
				復習	乳幼児への安全教育の方法をまとめる			
	第8回	内容	健康管理や安全への意識や態度を育むことの重要性について	予習	乳幼児の健康管理とはどのようなことか考える			
				復習	健康や安全の意識や態度を育む方法をまとめる			
	第9回	内容	乳幼児期の怪我や事故の特徴	予習	乳幼児期の怪我や事故について調べる			
				復習	乳幼児の怪我や事故を防ぐ方法をまとめる			
	第10回	内容	乳幼児期の怪我の応急処置の基礎	予習	乳幼児が怪我を負う状況について考える			
				復習	乳幼児の怪我の応急処置についてまとめる			
	第11回	内容	乳幼児期の病気の予防	予習	乳幼児が罹りやすい病気について調べる			
				復習	乳幼児期の病気予防の方法をまとめる			
	第12回	内容	乳幼児期の運動発達の特徴 - 運動コントロール能力と「多様な動き」について	予習	第3回授業内容のまとめに目を通しておく			
				復習	「多様な動き」を実践してみる			
	第13回	内容	多様な運動経験の意義 - 多様な動きを獲得することの意義について	予習	「多様な動き」を実践した気づきをまとめる			
				復習	多様な動きと多様な運動経験についてまとめる			
	第14回	内容	日常生活における運動 - 生活の中で行う動きの経験と配慮について	予習	生活の中で行う動きと運動を探す			
				復習	生活の中で多様な動きを実践する方法を考える			
	第15回	内容	遊びとしての運動 - 遊びの中で行う運動の在り方と配慮について	予習	遊びの中で運動を行う際の配慮を考える			
				復習	運動を取り入れた遊びの保育活動をまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	作成した課題に対してコメントを行う						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60％）、授業態度（40％）						
教科書	宮下恭子編『保育内容「健康」』大学図書出版							
参考文献								
注意事項								

科 目 名	環境		単 位 数	1	実務経験	担当教員	なかむら　よういち 中村　陽一
ナパ・リンク・コート*	CHS12104		授業形態	演習	無		
授 業 の 内 容	子どもは家庭・保育所・幼稚園・地域社会などの「環境」の中で生活し、その体験を通じて、人格形成の基礎となる豊かな心情、思考力や想像力、意欲や態度などが培われる。本講義は、子どもの成長にとって望ましい「環境」を、主に「物的環境」「自然環境」「社会環境」の面から捉え、保育者に求められる援助について理解することを目的とする。課題に応じて、グループを作り討論や発表を行う。						
到 達 目 標	1．子どもの成長にとって望ましい自然体験と保育者の適切な援助方法について理解している。 2．「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、自分の考えを述べることができる。 3．自然と生命を尊重する態度を身に付け、子どもに伝えることができる。 4．保育内容「環境」と小学校「生活科」の連続性について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・3・④・⑤・⑥・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり	予習	幼稚園教育要領 第 1 章を読む。		
				復習	教科書 9 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第 2 回	内容	領域「環境」のねらいと内容－「幼稚園教育要領」と「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」より。	予習	教科書 1～8p を読む。		
				復習	教科書 9 p の演習課題 1 に取り組む。		
	第 3 回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室、園舎）。	予習	教科書 11～15p を読む。		
				復習	教科書 25 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第 4 回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。	予習	教科書 27～31p を読む。		
				復習	教科書 25 p の演習課題 3 に取り組む。		
	第 5 回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境	予習	教科書 45～47p を読む。		
				復習	教科書 59 p の演習課題 1 に取り組む。		
	第 6 回	内容	子どもの生活と自然環境②－自然環境と保育実践（自然への気づき・季節感）	予習	教科書 47～54p を読む。		
				復習	教科書 59 p の演習課題 3 に取り組む。		
	第 7 回	内容	子どもの生活と自然環境③－動物との関わり、飼育動物の特徴と配慮	予習	教科書 54～57p を読む。		
				復習	教科書 59 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第 8 回	内容	子どもの生活と自然環境④－植物の関わり、栽培植物の特徴と配慮、実践例	予習	教科書 57～58p を読む。		
				復習	教科書 41 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第 9 回	内容	子どもの生活と社会①－社会環境と地域性、情報化と保育	予習	教科書 61～67p を読む。		
				復習	教科書 75 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第 10 回	内容	子どもの生活と社会環境②－情報と生活、伝統的な行事との関わり、地域や施設との関わり	予習	教科書 67～75p を読む。		
				復習	教科書 75 p の演習課題 3 に取り組む。		
	第 11 回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数、子どもの生活と文字	予習	教科書 77～84p を読む。		
				復習	教科書 91 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第 12 回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながり	予習	教科書 84～91p を読む。		
				復習	教科書 91 p の演習課題 3 に取り組む。		
	第 13 回	内容	小学校教育への連続性－保育内容「環境」と小学校教育の「生活科」「総合学習」への連続性	予習	教科書 93～99p を読む。		
				復習	教科書 108 p の演習課題 2 に取り組む。		
	第 14 回	内容	保育内容「環境」に関わる教育思想の変遷－ベスタロッチ・フレーベル・オウエン・倉橋惣三など。	予習	配布された資料を読む		
				復習	環境を通した保育思想についてまとめる。		
	第 15 回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	教科書 123～126p を読む。		
				復習	教科書 126 p の演習課題 1 に取り組む。		
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、その後、解答の解説と振り返りを行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（　）しない 成績評価の方法：　筆記試験（70％）、レポート・課題（20％）、授業態度（10％）						
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・目良秋子編、建帛社）						
参考文献	必要に応じて紹介する。						
注意事項	保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。						

科 目 名	言葉		単 位 数	1	実務経験	担当教員 いざわ えいしゅう 伊澤 永 修
ナンバリングコード	CHS12105		授業形態	演習	有・無	
授 業 の 内 容	人が社会の中で生活するために必要な言葉の意義や機能、乳幼児の言葉の発達過程、言葉の楽しさや美しさなどを映像や事例を通して具体的に学ぶ。また、保育の中で効果的に活用できるように、児童文化財についての教材研究を行い、また、実際に演じることで保育への活かし方について体験的に学ぶ。					
到 達 目 標	1. 「言葉」の意義や機能について理解している 2. 乳幼児の言葉の発達過程について理解している 3. 領域「言葉」のねらいや内容に基づく保育内容について理解している 4. 児童文化財や言葉遊びの保育への取り入れ方が身についている					
学位授与方針	幼児教育学科（1・ 2 ・ 3 ・4・5・6・ 7 ）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 幼児教育の捉え方について	予習	シラバスを読んでおく	
				復習	この科目で習得できる内容について理解する	
	第 2 回	内容	これからの0～2歳児の保育 幼児教育の目的と領域 環境を通しての教育	予習	テキストの該当箇所をまとめておく	
				復習	授業の内容を踏まえテキストの該当箇所を読み返し、理解の定着を図る	
	第 3 回	内容	乳児の言葉の発達の過程について理解する からだで感じる世界 自分で広げる世界	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく	
				復習	映像視聴及び記録をもとにテキストの該当箇所の振り返りを行う	
	第 4 回	内容	幼児のことばの発達段階と思考活動との関係を理解する 広がる活動世界	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく	
				復習	映像視聴及び記録をもとにテキストの該当箇所の振り返りを行う	
	第 5 回	内容	人間にとっての言葉とは何か、言葉の意義と機能について理解する	予習	言葉の意義や機能についてについてまとめておく	
				復習	言葉の意義や機能について理解し日常の言葉に対して意識的に向き合う	
	第 6 回	内容	美しい言葉、楽しさを感じる言葉を通して言葉に対する感覚について理解する	予習	美しい言葉、楽しさを感じる言葉について自分の考えをまとめておく	
				復習	授業の内容を受け、日常生活において意識して言葉を使用する	
	第 7 回	内容	日本語の特徴や魅力についての理解	予習	日本語の特徴や魅力について自分なりにまとめておく	
				復習	魅力的な言葉を用いた声かけについてまとめる	
	第 8 回	内容	言語教育の変遷とことば遊びについて理解する	予習	ことば遊びについて下調べをしておく	
				復習	ことば遊びを通して子どもの言語環境の変化についてまとめる	
	第 9 回	内容	ことば遊びの実践と保育内容	予習	保育に取り入れられる言葉遊びを考えておく	
				復習	ことば遊びの効果的な保育への取り入れ方をまとめる	

	第 10 回	内 容	様々な児童文化財について理解を深める	予 習	児童文化財についての下調べをしておく
				復 習	それぞれの児童文化財の特徴や魅力をまとめる
	第 11 回	内 容	絵本の読み聞かせを通して、絵本についての理解を深める	予 習	絵本を準備し、読み聞かせの練習しておく
				復 習	絵本の読み聞かせの方法と絵本についての知識のまともを行う
	第 12 回	内 容	文字が広げる世界について	予 習	テキストの該当箇所を読み、まとめる
				復 習	子どもの発達段階における文字との出会いや広がりについてまとめる
	第 13 回	内 容	ごっこ遊びを通してのことばの広がり とことばのもつ力について	予 習	テキストの該当箇所を読み、まとめる
				復 習	ごっこ遊びが育むこどものことばの世界についてまとめる
	第 14 回	内 容	領域「言葉」のねらいと内容に基づいた保育内容について理解を深める	予 習	要領、指針の領域「言葉」のねらい及び内容について再確認しておく
				復 習	ねらいや内容に基づいた保育内容についてまとめる
	第 15 回	内 容	まとめと振り返りを行い、言葉に関する様々な知識や技術の定着を図る	予 習	全ての授業内容についての振り返りを行っておく
				復 習	振り返りをもとに言葉に関する知識や技術の総合的なまとめを行う
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出物に関して評価を行返却時に解説する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（70％）、授業態度（30％）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『事例で学ぶ保育内容』 無藤隆監修 萌文書林				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館				
注意事項	本授業は演習授業のため、積極的に授業に参加することを望みます。				

科 目 名	音楽・身体表現		単 位 数	1	実務経験	担当教員	しおざき	はせがわ	きょうこ
ナンバリングコード	CHS12107		授業形態	演習	有・無		塩 崎	みづほ	・長谷川
授 業 の 内 容	領域「表現」における音楽・身体表現の指導法に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや環境について実践的に学ぶとともに、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける。								
到 達 目 標	1. 見る・聴く・動くなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができる。 2. 生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができる。 4. 他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・③・4・5・6・⑦） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	「表現とは」 領域「表現」のねらい及び内容について理解する	予習	領域「表現」のねらいの箇所を読んでくる				
				復習	本時の内容についてノートにまとめる				
	第 2 回	内容	「乳幼児の表現」 保育者として受け止める視点についてグループ討議し、その大切さについて考える。	予習	乳幼児期の表現の特徴について、調べる				
				復習	本時の討議の内容をノートにまとめる				
	第 3 回	内容	「身体表現とは」 豊かな表現を引き出すための保育者の役割や、題材について討議する。	予習	乳幼児期の運動発達についての箇所を読んでくる				
				復習	身体表現の題材についてまとめる				
	第 4 回	内容	「生活の中での身体表現」 生活を題材とした身体表現遊びの実技を通して、豊かな表現活動の展開の可能性についてグループ討議する。	予習	生活の中での身表現の題材について考えてくる				
				復習	本時の内容をノートにまとめる				
	第 5 回	内容	「絵本と身体表現」 絵本を題材とした身体表現遊びの実技を通して、展開についてグループ討議する。	予習	身体表現に利用できる絵本を探してくる				
				復習	本時の内容についてノートにまとめる				
	第 6 回	内容	「自然と身体表現」 自然を題材とした身体表現遊びの実技を通して、展開についてグループ討議する。	予習	自然素材について探してくる				
				復習	本時の内容をノートにまとめる				
	第 7 回	内容	「ICTを使った身体表現」 ICT を利活用した表現方法について実践し、生かし方・工夫について話し合い、まとめる。	予習	ICTの意味について調べ活用方法について考えてくる				
				復習	活用の仕方、操作の仕方の練習をする				
	第 8 回	内容	音楽表現とは 乳幼児期における音楽表現の意義や音楽能力の発達	予習	授業内容に該当する教科書の部分を読む				
				復習	保育に必要な音楽活動について考察する				
	第 9 回	内容	音楽の応用 1 多様な音楽表現の方法	予習	授業で指示した資料を確認する				
				復習	経験した音楽表現法を記録し振り返りをする				
	第 10 回	内容	音楽の応用 2 アレンジによる音楽表現の応用	予習	コードネームについて確認する				
				復習	経験した音楽表現法を記録し振り返りをする				
	第 11 回	内容	音楽表現の展開 1 幼児の豊かな表現力と音楽的な資質・能力を養うための教材選択	予習	授業で指示した資料を確認する				
				復習	教材選択の観点について考察し記録する				
	第 12 回	内容	音楽表現の展開 2 童謡を用いた総合的な表現活動の展開	予習	授業で支持した課題に取り組む				
				復習	経験した総合的な表現活動について記録する				
	第 13 回	内容	音楽と身体表現の出会い 音と体を使って表現を楽しむ、工夫する	予習	発表の題材について考えてくる				
				復習	本時の内容をまとめ、次時の課題を考えてくる				
	第 14 回	内容	様々な表現方法を用いて 様々な表現を集めて小作品を創作する	予習	音楽、動きについて考えてくる				
				復習	発表作品の練習課題についてまとめる				
	第 15 回	内容	学習のまとめを発表する	予習	発表作品の練習をする				
				復習	ノートのまとめをし、考察する				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	ノートや課題提出の際は、コメントを記入し返却する。 発表後は、講評を行う。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度（30%）								
教科書	授業内にてプリントを適宜配布する。								
参考文献	『運動あそび・表現あそび』（宮下恭子編著 大学図書出版）								
注意事項	出欠も評価の対象とする。身体表現の実技の際は、指定のジャージを着用のこと。								

科 目 名	音楽Ⅰ		単 位 数	1	実務経験	担当教員 しかと かずのり 鹿戸 一範 他
ナンバリングコード	E D S 12101		授業形態	演習	有・無	
授 業 の 内 容	この授業では、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽の基礎的な知識や理論（楽典）、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。6名前後のグループの半数が個人レッスン、それ以外の半数はクラス授業を受講し、45分で交代する。					
到 達 目 標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。					
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 授業内容、進め方について	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第2回	内容	ハ長調の和音・分散和音の伴奏形① 教本 No. 1～8	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第3回	内容	分散和音の伴奏形②・③ 教本 No. 9～16	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第4回	内容	分散和音の伴奏形④ 4分音符と8分音符 教本 No. 17～24	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第5回	内容	ハ長調の下属和音 教本 No. 25～26	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第6回	内容	ヘ長調の主和音・下属和音・属和音 教本 No. 27～32	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第7回	内容	ト長調の主和音・下属和音・属和音 教本 No. 33～38	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第8回	内容	いろいろな伴奏形①・②・③・④ 教本 No. 39～42	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第9回	内容	高い音の練習 教本 No. 43～46	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第10回	内容	3/8拍子と6/8拍子 教本 No. 47～48 生活のうたの弾き歌い①	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第11回	内容	付点4分音符を用いたリズム 教本 No. 49～54 生活のうたの弾き歌い②	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第12回	内容	ハ長調の音階 教本 No. 55～58 生活のうたの弾き歌い③	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第13回	内容	ヘ長調の音階 教本 No. 59～61 生活のうたの弾き歌い④	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第14回	内容	ト長調の音階 教本 No. 62～67 生活のうたの弾き歌い⑤	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	第15回	内容	これまでの授業のまとめと発表	予習	課題曲の予習	
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する	
	予習に要する学習時間：概ね 60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60分を目安とする。					
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 20%）、作品・発表（ 30%）、実技（ 50%）					
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』（大学音楽教育研究グループ、教育芸術社） 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた 100』（小林美実 他、チャイルド本社）					
参考文献						
注意事項						

科 目 名	音楽Ⅱ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	しか と かずのり 鹿 戸 一 範 他
ナソバ・リンク・コート	E D S 12102		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	この授業では、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽の基礎的な知識や理論（楽典）、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。6名前後のグループの半数が個人レッスン、それ以外の半数はクラス授業を受講し、45分で交代する。						
到 達 目 標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・②・3・④・5・6・⑦） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内 容	臨時記号と半音階 教本 No. 68～69 季節のうた（春）弾き歌い①	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 2 回	内 容	16 分音符を用いたリズム 教本 No. 70～72 季節のうた（春）弾き歌い②	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 3 回	内 容	イ短調の主要三和音 教本 No. 73～76 季節のうた（春）弾き歌い③	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 4 回	内 容	6 度・3 度の重音 教本 No. 77～78 季節のうた（夏）弾き歌い①	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 5 回	内 容	3 連符 教本 No. 79～80 季節のうた（夏）弾き歌い②	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 6 回	内 容	へ長調よりハ長調への転調 教本 No. 81 季節のうた（夏）弾き歌い③	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 7 回	内 容	3 度の重音と 8 度の跳躍 教本 No. 82 季節のうた（秋）弾き歌い①	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 8 回	内 容	弱起の曲 教本 No. 83～84 季節のうた（秋）弾き歌い②	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 9 回	内 容	二 長 調 と 二 短 調 の 主 要 三 和 音 教本 No. 85～86 季節のうた（秋）弾き歌い③	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 10 回	内 容	装飾音 教本 No. 87～90 季節のうた（冬）弾き歌い①	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 11 回	内 容	複付点音符 教本 No. 91 季節のうた（冬）弾き歌い②	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 12 回	内 容	教本 No. ～92～94 季節のうた（冬）弾き歌い③	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 13 回	内 容	マーチ、その他① 教本 No. 95～98	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 14 回	内 容	マーチ、その他② 教本 No. 99～102	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
	第 15 回	内 容	マーチ、その他③ 教本 No. 103～107	予習	課題曲の予習		
				復習	指導を受けた事項を中心に練習する		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 20%）、作品・発表（ 30%）、実技（ 50%）						
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』（大学音楽教育研究グループ、教育芸術社） 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた 100』（小林美実 他、チャイルド本社）						
参考文献							
注意事項							

科 目 名	教 育 社 会 学		単 位 数	2	実務経験	担当教員	はやさか 早坂 めぐみ	
ナソバ・リンク・コート*	SOE12101		授業形態	講義	有・無			
授 業 の 内 容	公教育制度の成立・展開を理解したうえで、教育に関わる現代的課題や子どもをめぐる諸問題について、社会学的視点から多角的に捉える。自身の教育に関する体験や子ども観、理想の保育者像について捉え直し、自己と社会との関わりに対する理解を深める。							
到 達 目 標	1. 現代の学校と社会の関わりを理解するために、教育制度に関する基礎的知識を習得している。 2. 現代日本における教育上の諸問題について構造的に理解する。 3. 学校安全および地域連携に関する基礎的知識を習得している。 4. 保育者や教員の果たす役割について様々な視点から捉えることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・③・④・⑤・６・７） 地域保育学科（１・２・３・４・５） 文化表現学科（１・２・３・４）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクションー教育とは何か、教育社会学とはどのような学問か	予習	教育という言葉の意味を調べてまとめる			
				復習	教育社会学の特徴をノートにまとめる			
	第 2 回	内容	教育制度① 公教育制度の成立と理念	予習	公教育という言葉の意味を調べてまとめる			
				復習	配布資料の内容をノートにまとめる			
	第 3 回	内容	教育制度② 社会の変化と教育政策	予習	教育社会学の書籍を図書館で調べ、読む①			
				復習	配布資料の内容をノートにまとめる			
	第 4 回	内容	子どもの社会化① 家族と子ども	予習	教育社会学の書籍を図書館で調べ、読む②			
				復習	配布資料の内容をノートにまとめる			
	第 5 回	内容	子どもの社会化② 学校、地域、子ども	予習	教育社会学の書籍を図書館で調べ、読む③			
				復習	社会化概念の要点と重要性をまとめる			
	第 6 回	内容	職業的社会化ー実習生について考える ＜グループワーク＞	予習	教育実習での出来事を思い出し、記述する			
				復習	職業的社会化の観点から予習をまとめ直す			
	第 7 回	内容	子どもの「見えない」貧困と貧困対策の制度 ＜グループワーク＞	予習	貧困の意味を調べ、イメージを記述する			
				復習	子どもの「見えない」貧困の要点をまとめる			
	第 8 回	内容	子どもの安心・安全と「教育」	予習	レポートのテーマについて考え、書きだす			
				復習	教育に対するイメージの変化を記述する			
	第 9 回	内容	学校における友人関係の諸問題ーいじめ、 スクールカースト、「優しい関係」	予習	友人関係の悩みについてノートに書きだす			
				復習	授業内容をもとに予習内容を再考する			
	第 10 回	内容	レポートの書き方の説明、少年犯罪について の認識とメディア＜グループワーク＞	予習	少年犯罪のイメージをノートに書きだす			
				復習	レポートに使用する論文を読み、まとめる①			
	第 11 回	内容	関係性と暴力	予習	レポートに使用する論文を読み、まとめる②			
				復習	暴力とはどのような力かをノートにまとめる			
	第 12 回	内容	依存症から社会のあり方を考える	予習	レポートに使用する論文を読み、まとめる③			
				復習	授業資料の要点をノートにまとめる			
	第 13 回	内容	「恋愛結婚」は当たり前か	予習	レポートを執筆する①			
				復習	戦後家族モデルの特徴をノートにまとめる			
	第 14 回	内容	ジェンダーー本学の建学の精神について 再考する＜グループワーク＞	予習	レポートを執筆する②			
				復習	建学の精神に対する考えの変化をまとめる			
	第 15 回	内容	まとめ＜グループワーク＞	予習	ノートを読み返し、これまでの学びをまとめる			
				復習	グループワークの成果をノートにまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出されたレポートについて、コメントする。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（5 0 %）、課題（3 0 %）、授業態度（2 0 %）						
教科書	なし							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）『社会学ドリル』（中村英代、新曜社）、『半径 5 メートルからの教育社会学』（片山悠樹・内田良・古田和久・牧野智和編、大月書店）							
注意事項	授業内で出された課題は、授業時間内に作成・提出すること。授業で配布されたプリントは、各自ファイルにまとめて保管すること。グループワークやディスカッションには積極的に参加すること。							

科 目 名	教育方法・技術論		単 位 数	1	実務経験	担当教員	あさい　たくや 浅井　拓久也
ナンバリングコード	EDU12203		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育むために、保育者として必要な教育方法や教育技術、情報機器を用いた教材作成・活用方法を学ぶ。受講生が自分で調べる、話し合う、まとめる、発表することを中心とした能動的な授業を行う。						
到 達 目 標	1. 3 法令の原理や原則を理解している。 2. 幼児教育に必要な理論的な知識や、実践的な技術を身につけている。 3. 情報機器を用いた教材の作成や活用ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・②③④⑤・6・⑦） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	教育方法・技術論の目的	予習	シラバス及び教科書の目次を読む		
				復習	本講座から学びたいことを3つ書く		
	第 2 回	内容	幼稚園教育要領の概要：幼稚園教育の目的と特徴	予習	幼稚園教育要領の第 1 章を読む		
				復習	社会に開かれた教育課程についてまとめる		
	第 3 回	内容	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の概要：認定子ども園の目的と特徴	予習	教育・保育要領の第 1 章を読む		
				復習	要領と教育・保育要領との違いをまとめる		
	第 4 回	内容	情報機器を活用した幼児教育	予習	なぜ情報機器を幼児教育で活用するか考える		
				復習	情報機器を活用した幼児教育を調べる		
	第 5 回	内容	情報機器を活用した指導案の作成：情報機器の基本的な使い方	予習	情報機器の活用に関する倫理をまとめる		
				復習	情報機器の基本的な操作を一覧表にまとめる		
	第 6 回	内容	情報機器を活用した指導案の作成：部分実習指導案の作成	予習	部分実習指導案を考える		
				復習	情報機器を活用して指導案を作る		
	第 7 回	内容	情報機器を活用した園だよりの作成：園と保護者をつなぐ多様なツール	予習	なぜ園だよりが必要か考える		
				復習	保護者支援についてまとめる		
	第 8 回	内容	情報機器を活用した園だよりの作成：実際の園だよりの作成	予習	見本となる園だよりを準備する		
				復習	情報機器を活用して園だよりを作る		
	第 9 回	内容	ドキュメンテーションを通じた子どもたちの主体的で対話的な学びの実現	予習	ドキュメンテーションとは何か調べる		
				復習	ドキュメンテーションを作る		
	第 10 回	内容	幼児教育における児童文化財とその活用方法	予習	なぜ幼児教育に絵本が必要か考える		
				復習	物語完結型の紙芝居を3つ調べる		
	第 11 回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：絵本や紙芝居の構成	予習	絵本と紙芝居の違いを調べる		
				復習	なぜ紙芝居には舞台が必要かまとめる		
	第 12 回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：グループワークでストーリー作成	予習	どのようなストーリーにするか考える		
				復習	なぜストーリーが重要かまとめる		
	第 13 回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：デザインや写真の作成	予習	パワーポイントの基本的な使い方を調べる		
				復習	アニメーションの使い方を一覧表にまとめる		
	第 14 回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：自分の作品の発表	予習	発表する作品を事前に読んでおく		
				復習	紙芝居の基本的な演じ方をまとめる		
	第 15 回	内容	これからの時代の教育方法・技術論	予習	第 1 回から第 14 回までのノートを見直す		
				復習	本講座から学んだことを書く		
予習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（　）しない 成績評価の方法：　筆記試験（4 0％）、作品・発表（5 0％）、授業態度（1 0％）						
教科書	『すぐにできる！保育者のための紙芝居活用ガイドブック』（浅井拓久也、明治図書）						
参考文献	『保育所保育指針（平成 2 9 年告示）』（厚生労働省、フレーベル館）、『幼稚園教育要領＜平成 2 9 年告示＞』（文部科学省、フレーベル館）						
注意事項	PC 教室の利用可否によって、授業計画の順番を変更することがある。						

科 目 名	保育所実習Ⅰ		単 位 数	2	実務経験	担当教員	おぐち すぐる 小口 偉
ナソバ・リンク・コート*	CHS12108		授業形態	実習	㊦・無		
授 業 の 内 容	これまでで講義、演習で学んだ内容を基礎として、保育所保育、保育所の機能・役割、保育士の職務内容について、実際の保育の場で観察・参加実習をすることで理解を深める。実習中は課題を明確にし、日誌へ記録し考察をする。 保育所実習のうち保育所実習Ⅰは前期実習となる。						
到 達 目 標	1. 保育所の1日の流れを理解している。 2. 保育所の役割や機能について理解している。 3. 保育士の職務内容を理解している。 4. 観察、参加実習や子どもとの関わりを通して子どもを理解しようとする姿勢を身に付けている。						
学位授与方針	幼児教育学科（①・②・③・④・⑤・⑥・⑦）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）						
授 業 計 画	第1回	内容	実習施設について理解する	予習			
				復習			
	第2回	内容	保育所における一日の流れを学ぶ	予習			
				復習			
	第3回	内容	観察と記録により子どもを理解する	予習			
				復習			
	第4回	内容	子どもの生活と遊びについて学ぶ	予習			
				復習			
	第5回	内容	子どもの発達過程を理解し援助や関わり方を学ぶ	予習			
				復習			
	第6回	内容	保育計画や発達過程に応じた保育内容を学ぶ	予習			
				復習			
	第7回	内容	保育の環境について学ぶ	予習			
				復習			
	第8回	内容	安全への配慮について学ぶ	予習			
				復習			
	第9回	内容	保育者の個々の子どもへの対応について学ぶ	予習			
				復習			
	第10回	内容	保育士の業務内容や役割分担、連携方法について学ぶ	予習			
				復習			
	第11回	内容	保育士の役割と職業倫理について学ぶ	予習			
				復習			
	第12回	内容	反省会を通し実習を振り返る	予習			
				復習			
	第13回	内容		予習			
				復習			
	第14回	内容		予習			
復習							
第15回	内容		予習				
			復習				
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	評価面談を実施する						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 実習課題（20%）、実習日誌（30%）、施設による評価（50%）						
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）、『保育所保育指針』・解説書、『幼稚園・保育所・施設実習』（若井香保里 編著）						
参考文献	参考資料等、その都度プリント配布する						
注意事項	「保育所実習指導Ⅰ」等で学んだ内容を実践し、実習先にて指導を受けるとともに、しっかりと内容等について振り返りをする。書類、日誌等の提出の遅れや未提出などがあった場合、本学の「実習派遣規制」ののっとりた処分をする場合がある。						

科 目 名	保育所実習指導Ⅰ		単 位 数	1	実務経験	担当教員	おぐち すぐる とりうみひろこ 小口 偉 ・ 鳥海弘子
ナソバ・リンク・コート*	CHS12109		授業形態	演習	有・無		
授 業 の 内 容	保育所実習に並行して行われる授業である。保育所実習の目的、内容、方法、実習施設の機能を学ぶとともに、手続書類の作成等について指導を行う。実習に対する課題を立て、事後の学習目標を明確にしていくことで実習に対する意欲を高める。						
到 達 目 標	1 保育所実習の意義・目的・内容を理解している。 2. 実習の計画、実践、観察、評価の方法について理解し実践できる。 3. 事前準備として実習課題を明確にし、取り組むことができる。 4. 事後指導の実習の統括と自己評価から、課題と目標を明確にしている。						
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７） 地域保育学科（１・２・３・４・５） 文化表現学科（１・２・３・４）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育所実習の意義・目的	予習			
				復習			
	第 2 回	内容	保育所実習の目的理解	予習			
				復習			
	第 3 回	内容	前期実習の目的（参加、観察実習）	予習			
				復習			
	第 4 回	内容	前期実習参加の心得	予習			
				復習			
	第 5 回	内容	実習手続き書類の作成指導（配当資料について）	予習			
				復習			
	第 6 回	内容	実習手続き書類の作成指導（調査書について）	予習			
				復習			
	第 7 回	内容	参加、観察実習の留意点	予習			
				復習			
	第 8 回	内容	保育園の一日の流れ、実習中の注意事項	予習			
				復習			
	第 9 回	内容	実習日誌の作成指導①	予習			
				復習			
	第 10 回	内容	実習日誌の作成指導②	予習			
				復習			
	第 11 回	内容	オリエンテーションについて	予習			
				復習			
	第 12 回	内容	実習課題についての説明	予習			
				復習			
	第 13 回	内容	部分実習指導計画案作成指導	予習			
				復習			
	第 14 回	内容	持ち物、身だしなみについて	予習			
				復習			
第 15 回	内容	実習の総括と自己評価	予習				
			復習				
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	評価面談を実施する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 実習課題（２０％）、実習日誌（３０％）、施設による評価（５０％）						
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）、『保育所保育指針』・解説書 『幼稚園・保育所・施設実習～子どもの育ちと安全を守る保育者を目指して～』（若井香保里編著、大学図書出版）						
参考文献	必要があれば授業内で紹介						
注意事項	1. 実習について必要な注意事項の説明、提出書類の作成等を行うので、原則として欠席は認めない。 2. 実習提出書類の遅延、授業態度の怠惰等は、「実習派遣規制」によって禁じられており、実習派遣ができなくなるので十分に留意すること。						

科 目 名	教育実習Ⅰ	単 位 数	2	実務経験	担当教員	大熊美佳子・北澤明子・長谷川恭子
ナンバリングコード	EDU12107	授業形態	実習	⑦有・無		
授 業 の 内 容	教育実習は幼稚園教諭の免許状を取得するための必修科目である。これまで学んできた学校での理論を統合的に整理し、保育の場でどのように具現化・統合化されているのかを理解する。教育実習Ⅰ（前期教育実習）では、保育活動に直接参加する前段階として、子どもや保育者の活動を見学・観察し、客観的に記録する見学・観察実習と、保育活動に加わり、体験を通して保育の営みについて学ぶ参加実習を行う。					
到 達 目 標	1. 教育実習の意義を理解し、課題を持ち実習に臨むことができている。 2. 幼稚園の機能や活動内容を理解し、幼稚園教育の場を統合的に理解している。 3. 実習を通し、社会人としてのマナー、保育者としての使命感を認識することができている。					
学位授与方針	幼児教育学科 ①・②・③・④・5・6・⑦ 地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）					
授 業 計 画	○前期教育実習：見学・観察・参加実習 幼稚園で生活する子どもや保育者の日々の営みについて、見学・観察をする。また、子どもの実態や保育内容、保育者の職務等について理解を深める。具体的には、以下の5つのねらいを持ち10日間の実習を行う。 （1）一日の保育の流れを理解する。 （2）子どもの生活実態と活動の様子を理解する。 （3）保育者の職務内容や保育活動について理解する。 （4）保育者としての自覚・態度を確認する。 （5）今後の学習の目標や自己課題について確認する。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 実習園による評価（50%）、実習日誌評価（50%）					
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）					
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）					
注意事項	1. 「幼児教育研究」を履修し、準備をすると同時に実習生としてふさわしい言動を心がけること。 2. 実習関係書類の提出期限は厳守すること。 3. 「実習派遣規制」に基づき、実習の停止、中止等が行われる場合があるため注意すること。					

科 目 名	教育実習指導 I		単 位 数	1	実務経験	担当教員 大熊美佳子・北澤明子・長谷川恭子
ナンバリングコード	EDU12108		授業形態	演習	⑦・無	
授 業 の 内 容	教育実習と並行して行われる授業であり、教育実習に関する事前事後の指導を行う。具体的には、教育実習の目的、幼稚園の機能、幼稚園教諭の職務内容について学ぶとともに、実習手続きに必要な書類の作成の指導を行っていく。前期教育実習の各段階における実習内容や目的、実習記録の方法、指導計画の理解と作成について学習することを目的とする。					
到 達 目 標	1. 前期教育実習の事前準備として、実習の心構えを理解し、実習に必要な態度や意欲を持っている。 2. 前期教育実習の事前準備として、実習の課題を明確にしている。 3. 前期教育実習の事前事後指導を通し、後期教育実習に向けて必要な、保育者としての資質・能力を身につけている。					
学位授与方針	幼児教育学科 (①・②・③・④・5・6・7) 地域保育学科 (1・2・3・4・5) 文化表現学科 (1・2・3・4)					
授 業 計 画	第 1 回	内容	幼稚園教育の意義の理解	予習		
				復習		
	第 2 回	内容	教育実習の目的の理解	予習		
				復習		
	第 3 回	内容	前期教育実習の目的の理解	予習		
				復習		
	第 4 回	内容	前期教育実習参加の心得	予習		
				復習		
	第 5 回	内容	実習配当資料作成指導① 配当資料について	予習		
				復習		
	第 6 回	内容	実習配当資料作成指導② 配当資料の作成	予習		
				復習		
	第 7 回	内容	実習内容指導① 幼稚園の一日の流れ	予習		
				復習		
	第 8 回	内容	実習内容指導② 参加・観察実習の留意点	予習		
				復習		
	第 9 回	内容	実習内容指導③ 実習中の心構え	予習		
				復習		
	第 10 回	内容	実習内容指導④ 実習中のマナー・身支度	予習		
				復習		
	第 11 回	内容	実習内容指導⑤ 守秘義務について	予習		
				復習		
	第 12 回	内容	実習生調査書作成指導① 記入上の注意	予習		
				復習		
	第 13 回	内容	実習生調査書作成指導② 自己評価・資格・健康状態等	予習		
				復習		
	第 14 回	内容	実習生調査書作成指導③ 抱負	予習		
				復習		
	第 15 回	内容	実習生調査書作成指導④ 作成・提出	予習		
				復習		
	第 16 回	内容	実習配当発表と今後の流れについて	予習		
				復習		
	第 17 回	内容	オリエンテーションについて	予習		
				復習		
	第 18 回	内容	教育実習日誌の作成指導① 教育実習日誌とは	予習		
				復習		
	第 19 回	内容	教育実習日誌の作成指導② 実習園の概況・環境等	予習		
				復習		
	第 20 回	内容	教育実習日誌の作成指導③ 実習課題とは	予習		
				復習		

授 業 計 画	第 21 回	内容	実習報告会	予習	
				復習	
	第 22 回	内容	教育実習日誌の作成指導④ 保育の記録：一日の流れ	予習	
				復習	
	第 23 回	内容	教育実習日誌の作成指導⑤ 保育の記録：振り返り	予習	
				復習	
	第 24 回	内容	部分実習指導案の作成指導	予習	
				復習	
	第 25 回	内容	直前指導・最終確認	予習	
				復習	
	第 26 回	内容	前期教育実習の振り返り：自己評価	予習	
				復習	
	第 27 回	内容	前期教育実習の振り返り：グループワーク	予習	
				復習	
	第 28 回	内容	前期教育実習評価	予習	
				復習	
	第 29 回	内容	前期教育実習の総括	予習	
				復習	
	第 30 回	内容	後期教育実習に向けて	予習	
				復習	
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	個別面談にて実習に関する評価を伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（60%）、授業態度（40%）				
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）				
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）				
注意事項	1. 実習について必要な事柄や注意事項の説明，提出書類の作成を行うので，原則として欠席は認めない。 2. 実習書類の遅延，授業態度の怠慢等は「実習派遣規制」によって禁じられており，実習派遣できなくなるので十分に留意すること。				

(添付資料)

【幼児教育学科第一部・二部】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク：新カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/yk_syllabus_2019_new.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	小口・鳥海	44
2	施設実習	2	実習	志濃原・三好	本年度配当無し
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	丸橋・浅井	本年度配当無し
4	教育実習Ⅰ	2	実習	大熊・長谷川・北澤	46
5	教育実習Ⅱ	2	実習	大熊・伊澤・長谷川・北澤・ 畠田・早坂	本年度配当無し
計		10			

(シラバスリンク：旧カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/yk_syllabus_2019_old.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	小口・鳥海	67
2	施設実習	2	実習	志濃原・三好	68
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	丸橋・浅井	70
4	教育実習	4	実習	大熊・畠田 他	62
計		10			

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。